



# KICHIJO

## GIRLS' SCHOOL

GUIDEBOOK  
2027【資料編】



吉祥女子中学・高等学校

# 目次

## I 学校概要

01 創立者と設立者	03
02 建学の精神と校是	04
03 校章	04
04 沿革と学校規模	05
05 教育課程	06
06 図書館教育	08
07 ICT 機器の活用	09
08 補習・講習	10
09 課外授業	13
10 学校生活	14
11 制服	15
12 生徒会活動	16
13 進路・進学	17
14 国際交流	22
15 キャンパス内の大理石像とモットー	26
16 2026 年度学納金	28
17 生徒居住地・通学時間	28
18 各教科の取り組み	29

## II 2026 年度入試問題 問題構成・出題の意図

01 国語	40
02 算数	42
03 社会	44
04 理科	47

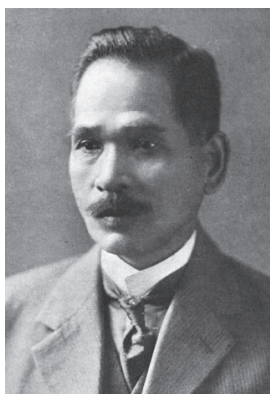
Q&A	49
-----	----

入学案内	52
------	----

2027 年度入試概要

2026 年度中学校入試結果

## I 01 創立者と設立者



創立者 もり やすさび お  
守屋荒美雄

創立者 守屋荒美雄先生は昭和 13（1938）年、新宿の大久保に本校の前身である帝国第一高等女学校を創設されました。

先生は明治 5 年（1872 年）に岡山県に生まれ、幼小の頃から向学心の大変強い方でした。高等小学校 4 年生のときに代用教員試験に合格し、小学校で教鞭をとられたのです。

19 歳で校長となり、さらに独学で文部省検定試験に合格して中学校教諭の資格をとり上京、獨協中学などで教えられました。専門は地理、歴史で、優れた指導をなさり、ご自身で教科書の執筆、編集もなさり、学問研究にも打ち込まれました。大正 6 年（1917 年）には、帝国書院（教科書出版会社）を設立し、以後、先生は著作と経営に当たられました。先生の著作は全国的に反響をよび、大きな影響を社会に及ぼしました。

晩年になって先生は、出版で得た利益を社会に還元するため学校を設立することを決意され、本校の前身である帝国第一高等女学校がつくられたのです。

女性の教育機会をひろげて、社会に役立つことを念願した先生は、開校直前の 2 月 8 日に病によって永眠されました。



設立者 もり や み か お  
守屋美賀雄

創立者 守屋荒美雄先生は昭和 13 年の開校を前にして亡くなられたので、ご長男であった守屋美賀雄先生が、理事長となられて本校は発足しました。

先生は明治 39 年（1906 年）東京小石川に生まれ、開成中学、第一高等学校、東京帝国大学で学ばれました。代数学と整数論を専攻、ドイツのマールブルグ大学に留学されて帰国後、理学博士号を取得し、北海道大学で教育と研究に打ち込まれました。以後、岡山大学、東京大学で教授を歴任し、昭和 41（1966）年から 50（1975）年まで、上智大学で理工学部長、学長をなさり、数々の業績をあげられました。

この間、先生は吉祥の発展を手がけられ、昭和 57（1982）年に逝去されるまで 45 年間にわたり理事長また監事として、本校をわが子のように育てられました。

荒美雄先生と同様に敬虔なキリスト教徒であった先生は、ローマ法王庁より聖グレゴリオ大勲章を受賞されました。しかし、「私の勲章は教え子である」と言っておられ、自分自身で考えることの大切さや、自分の行動には責任を伴うことを常日頃話されていました。

## I 02 建学の精神と校是

### 建学の精神

#### 社会に貢献する自立した女性の育成

この建学の精神を具現化すべく、次の三つを校是としています。

### 校 是

#### 知的探究心を育みましょう

吉祥女子中学・高等学校は地理学者であった守屋荒美雄〈教科書や地図帳などを出版している帝国書院の創設者〉とその長男で数学者であった守屋美賀雄〈東京大学教授や上智大学学長などを歴任〉という二人の研究者が、1938（昭和13）年に創立した学校です。二人の真摯かつ継続的に学ぶ姿勢が本校の根幹にあります。学びは、中学高校や大学で終わるものではありません。知的探究心を育み、生涯にわたり、学び続けることの素晴らしさを二人の生き方は教えています。

#### 言葉と行動に責任を持ちましょう

守屋美賀雄は「自分の意見を決めるとき、自分自身で考えることをしないで周囲の人に合わせたり、また自分の行動を決める場合にも、その行動から生じる責任を考えるとなく、大勢に同調して行動してしまうことは日本人の大きな欠点だ」と常日頃語っていました。自分の意見を言ったり、周囲の人たちと意見交換する際大切なのは、自分で考え自分の言葉で誠実に語ることです。また、自分のためばかりではなく、集団や社会貢献のために責任ある行動ができるようになることを本校は目標としています。

#### 互いの価値観を尊重しましょう

自分の価値観と相手の価値観が異なり、時として衝突することがあります。そのとき、必要なのは自分の枠にとどまらず、話し合いを重ねることです。話し合いの結果、結論は同じということがあるかもしれませんが、その過程を通じて、新たな発想や視点を持つことができます。このように互いの価値観を尊重する姿勢は、社会性や協調性、国際性を身につけることにもつながっていきます。本校では個性の伸長ばかりでなく、互いの価値観の尊重をととても重要と考えています。

## I 03 校 章



校章は「なでしこ」の花を型どったものです。「なでしこ」は秋の野を飾るありふれた草花ですが、それでいて清楚で落ち着いた気品高い美しさを持っています。また茎は細く弱そうに見えながら中空で節があり、雨にも風にもなかなか折れない粘りと強さを持っています。この「なでしこ」のように清く、美しく、強く、正しく伸び育つことを願ってこの校章を決めました。なお中央の模様は吉祥の頭文字Kをドイツ語の花文字で表したものです。

## I 04 沿革と学校規模

- 沿革
- 1938年 守屋荒美雄が本校の前身帝国第一高等女学校を淀橋区（現新宿区）百人町に創設  
初代理事長に守屋美賀雄、初代校長に増田啓策が就任
  - 1945年 戦災により校舎が被災
  - 1946年 現在の吉祥寺キャンパスに移転 新校舎落成
  - 1947年 吉祥女子中学校と改称
  - 1948年 吉祥女子高等学校が新発足
  - 1965年 八王子にグラウンド完成
  - 1971年 生徒の海外研修開始
  - 1978年 6号館竣工（1階ホール・2階音楽室）
  - 1983年 7号館竣工（トレーニングルーム・アトリエなど）
  - 1993年 八王子キャンパス完成（グラウンド・テニスコート・祥成館（宿泊施設）など）
  - 1998年 祥文館（茶室・和室）竣工
  - 2003年 本館（1・2・3号館）竣工
  - 2007年 高校募集を停止、中高完全一貫開始
  - 2015年 東京農工大学と高大連携の協定を締結
  - 2017年 東京外国語大学と高大連携の協定を締結
  - 2018年 5号館（カフェテリア・視聴覚室・教室など）竣工
  - 2020年 国際基督教大学・東京学芸大学と高大連携の協定を締結
  - 2021年 順天堂大学と高大連携の協定を締結  
理事長に萩原茂、校長に赤沼一弘が就任
  - 2024年 東京医科大学・東京理科大学と高大連携の協定を締結

### ■教職員 ※2026年4月現在

理事長：萩原 茂  
 校長：赤沼一弘  
 専任教諭：72名（男性36名・女性36名）  
 常勤講師：2名 非常勤講師：37名  
 司書：2名 養護：3名  
 校務職員：5名 非常勤職員：3名  
 カウンセラー：2名 事務：10名  
 現業：2名 課外授業：20名  
 校外施設管理：3名

### ■生徒数 ※2026年4月現在

中学校：724名	1年：237名（6クラス） 2年：248名（6クラス） 3年：239名（6クラス）
高等学校：714名	
合計：1,438名	

※中学から高校への進学は、学習面、学校生活面を総合的に審査して決定。希望者は全員進学。

### ■施設 閑静な住宅街に充実した施設

閑静な住宅街にあり、豊富な施設がコンパクトにまとめられています。教室・図書館・理科室・家庭科実習室・進路指導室などがある本館、体育館・トレーニングルーム・グリーンコート・プールなどの運動施設・専門のカウンセラー2名を配したカウンセリングルーム、自由なメニューを選べるカフェテリアなど、生徒の有効な利用を考えて作られています。茶室や和室を備えた祥文館は課外授業やホームルーム、保護者会会場などとしても利用されています。校外施設として、八王子キャンパスがあります。

# I 05 教育課程

## 中学校

教科科目		国語	社会	数学	理科	保健体育	音楽	美術	技術家庭	英語	英会話	道徳	学習の時間	総合的な	特別活動	合計
授業時間数 (週)	中学1年	5	4	4	4	3	2	2	2	5	1	1	2	1	1	36
	中学2年	6	3	6	4	3	1	1	2	5	1	1	2	1	1	36
	中学3年	5	4	6	4	3	1	1	1	5	2	1	2	1	1	36

※総合的な学習の時間は年間を通して、週2時間相当の時数分を行います。 ※教育課程は変更する場合があります。

## 高等学校

1年次は芸術教科を除いて全員同じ科目を共通して学習し、高校基礎学力の充実を図ります。2年次からは進路目標に応じて、文系、理系、芸術系に分かれます。文系・理系とも2年次より一部科目で習熟度授業を取り入れます。3年次からは、文系はさらに国公立文系と私立文系に分かれます。

### ■ 2年文系⇒3年私立文系 「国・英・地歴などの文系科目に重点をおいて集中的に学習します」

3年次からは、興味ある文系科目の学力を徹底的に伸ばし、難関私立大学に対応できる学力を効率よく身につけます。国語は2年次6単位、3年次7単位が必修です。英語は高3の一部科目で習熟度別授業を展開し、2年次合計6単位、3年次合計10単位を履修します。地歴科目は2年次4単位で培った素養をもとに3年次で8単位履修し、集中的に歴史の流れがつかめるようになっています。

### ■ 2年文系⇒3年国公立文系 「さまざまな教科をバランスよく履修し、総合力をアップします」

数学を2年次で6単位、3年次で6単位履修します。また、共通テスト対策として理科を2年次で2単位、3年次で2単位履修します。社会科では2年次に日本史探究、世界史探究のいずれか一方の4単位履修に加え、地理総合を全員が履修します。3年次には2年次4単位で培った素養をもとに日本史探究・世界史探究を5単位履修します。さらに共通テストで2科目めとして必要となる科目を2年次、3年次の自由選択でとることができます。

### ■ 2・3年理系 「国公立および私立の両方に対応したカリキュラムのもとで進路達成を図ります」

2年次は数学7単位、理科7単位、英語6単位、3年次は数学8単位、理科8単位、英語各7単位を履修します。国語は2年次に4単位、3年次に4単位履修し、難関国公立大学の受験につなげます。さらに、地理総合を2年次に2単位履修し、2・3年次の選択科目とあわせて共通テストに備えます。

### ■ 2・3年芸術系 「専門的な授業を2年次に8単位、3年次に10単位を履修し、芸術大学への進学をめざします」

美術では、絵画（素描、採画、素材研究、美術理論等）とデザイン（色彩演習、立体演習）に分けて専門的に学びます。3年次には、進学のための特別カリキュラムも生まれ、志望専攻別の授業が行われます。

教科	科目	標準 単位	高校1年		高校2年						高校3年									
			共通	選択	文系		芸術系		理系		必修 選択	私文系		国立文系		芸術系	理系		自由 選択	
					共通	選択	共通	選択	共通	選択		共通	選択	共通	選択		共通	選択		
国語	現代の国語	2	2																	
	言語文化	2	2																	
	論理国語	4			3		3		2		3		3		3	2				
	古典探究	4			3		3		2		4		4		4	2				
	現代文演習																		②	
地理歴史	古典演習																		②	
	歴史総合	2	2																	
	地理総合	2			2		2		2											
	地理探究	3																	④	
	日本史探究	3					④		④				⑤		⑤					
	世界史探究	3					④		④				⑤		⑤					
	地理調査探究																		②	
	日本史総合																		②	
世界史総合																		②		
共通テスト日本史																			④	
共通テスト地理																			②	
公民	公民	2	2																	
	倫理	2																		②
	政治・経済	2																		②
	共通テスト倫理																			②
数学	数学Ⅰ	3	3※																	
	数学Ⅱ	4			4				4											
	数学Ⅲ	3																	4	
	数学A	2	2※																	
	数学B	2			2				3											
	数学C	2																	4	
	数学Ⅱ演習																		③	
	共通テスト数学Ⅱ																		③	
	共通テスト数学C																		③	
	数学ⅠA演習																			②
数学Ⅲ上級																			②	
理科	物理基礎	2	2																	
	物理	4																		③
	化学基礎	2	2				①													④
	化学	4																		4
	生物基礎	2	2				①													4
	生物	4																		③
保健体育	化学基礎演習																			1
	生物基礎演習																			1
芸術	体育	7~8	2		3		3		3		2		2		2	2				
	保健	2	2																	
	音楽Ⅰ	2		②																
	美術Ⅰ	2		②																
	オペラ・ミュージカル						②													
	絵画								4											
	デザイン								4											
	ソルフェージュ																			②
	美術史探究																			②
	建築史探究																			②
	美術総合A																			6
	美術総合B																			4
	美術総合C																			3
ピアノ																			②	
音楽理論・ソルフェージュ																			②	
選択美術																			④	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	3																	
	英語コミュニケーションⅡ	4			4		4		4											
	英語コミュニケーションⅢ	4									4		4		4	4				
	論理・表現Ⅰ	2	2																	
	論理・表現Ⅱ	2			2		2		2											
	論理・表現Ⅲ	2									3		3		3	3				
	英語探究																			②
	総合英語演習																			3
英語演習																			②	
家庭	家庭基礎	2			2		2		2											
	情報Ⅰ	2	2																	
情報	情報Ⅰ演習																			②
	理数探究	2~5																		②
総合	総合的な探究の時間	3~6			2		1		1		1		1		1		1			1
	合計				34		34		34		34		28		30		30		30	(注3)
特別活動	特別活動				1		1		1		1		1		1		1			1

(注1) 高校2・3年次文系生徒の地歴選択・世界史探究・日本史探究のうち1科目履修する。高校2年次に4単位履修した科目を3年次に国立文系では5単位、私立文系では8単位(5+3)履修する。世界史探究を履修した場合、2年次の必修選択科目の世界史総合を履修できない。日本史探究を履修した場合、2年次の必修選択科目の世界史総合を履修できない。2年次の必修選択科目で日本史総合を履修した場合は、必要に応じて、3年次に共通テスト日本史を自由選択(4単位)で履修する。

(注2) 高校2年次理系の物理・生物は2・3年次に同一科目を履修する。

(注3) 高校3年次の自由選択科目は私文系は6単位まで、国立文系・芸術系・理系は4単位まで履修可。

(注4) 教育課程表の数字は、各科目の単位数を表しています。例えば1年次の現代の国語の2は2単位のこと、1週あたり2時間の授業があり、1年間履修して認定されれば2単位修得したことになります。本校を卒業するためには、88単位以上修得する必要があります。

(注5) 「総合的な探究の時間」は年間を通して高1は週2時間相当、高2・3は週1時間相当の時数分を行います。

(注6) 教育課程は変更することがあります。

※「数学Ⅰ」(3単位)および「数学A」(2単位)の一部は、併設型中高一貫校の教育課程の特例により、吉祥女子中学校第3学年で履修している。「数学Ⅰ」および「数学A」の一部に関しては、国内外の学校から転編入学した生徒には未履修にならないよう別途指導を行う。

## I 06 図書館教育

### 8万冊を超える蔵書と充実した環境

本校の図書館には約83,000冊の図書があり、雑誌や新聞、CD、DVDなどの資料も充実しています。毎月約200冊の新しい図書を受け入れ、生徒の知的好奇心を刺激しています。通常の貸出は図書5冊、雑誌3冊までで、それぞれ2週間借りることができます。年2回の読書週間や長期休暇前の特別貸出期間には、冊数制限なく自由に借りることが可能です。

閲覧コーナーはグループ学習向け（54席）と講義型授業向け（48席）の2か所に分かれ、多様な利用ニーズに対応できるフレキシブルなレイアウトとなっています。また、靴を脱いで足を伸ばしてくつろげるブラウジングエリアもあり、冬には床暖房が利用できるため、生徒に人気のエリアです。

### 生徒一人ひとりの学びをサポート

生徒の探究的な学びや調査・研究を支援するため、図書館では多様な分野の資料を収集しています。紙媒体の資料に加え、インターネットで新聞記事を検索・閲覧できるデータベースも導入し、情報収集の幅を広げています。豊富な資料を活用した学びを通して、生徒は多様な考え方に触れながら、思考力や表現力を身につけていきます。レファレンスや読書相談には、専任の司書教諭が対応します。

また、自宅から図書館ホームページにアクセスし、蔵書検索や資料の予約をすることができます。読みたい本がない場合には購入希望のリクエストも可能です。さらに、各自の情報端末で電子書籍を借りて読める電子図書館（電子書籍貸出サービス）も利用できます。

■ 吉祥女子中学・高等学校図書館ホームページ <https://kichijo-joshi.opac.jp/>

■ Kichijo Digital Library ホームページ <https://web.d-library.jp/kichijo/g0101/top/>

## 読書推進の取り組み

### ■ 読書週間

年2回、「読書週間」を実施し、全校で読書活動に取り組んでいます。期間中は朝の読書時間を設け、生徒は各自が選んだ本を持参し、教室で静かに読書する時間を持ちます。

### ■ ビブリオバトルなどの多様な読書活動

中学1年生は授業の中で、「ビブリオバトル（書評合戦）」「読書紹介文づくり」「読書ノート」などに取り組みます。さまざまな読書活動を通して、主体的に読書に向かう姿勢を育てています。

### ■ 読書への径<sup>こみち</sup>

教員の推薦図書リスト「読書への径<sup>こみち</sup>」を1985年から毎年発行しています。テーマ別図書・教科別図書・巻末特集の3部構成で、多彩な本を紹介しています。

### ■ Kichijo Library Press

図書委員が作成する広報紙で、毎月中学・高校別に発行しています。新着図書案内をはじめ、話題の作家紹介、クラス別貸出状況などの情報を掲載し、生徒と図書館をつなぐ役割を果たしています。

### ■ 図書委員のおすすめ新書ブックガイド

読書の幅を広げることを目的に、図書委員が毎年発行しています。新書が扱うテーマは社会問題・歴史・科学・スポーツ・人生の指南書など多岐にわたり、知的好奇心を刺激する内容となっています。

## I 07 ICT 機器の活用

### BYOD で使い慣れた端末を活用

本校では、より良い学校生活の実現と情報活用能力の育成 を目的に、BYOD (Bring Your Own Device) を採用しています。生徒は タブレットやノート PC など、自分が使い慣れた情報端末を持参し、校内の 無線 LAN に接続して活用することができます。端末は 教科学習をはじめ、委員会活動や部活動、学校行事 など、さまざまな場面で活用され、学校生活の中で情報機器を効果的に活用する力を身につけています。

### クラウドをコミュニケーションツールに活用

クラウド利用の知識と技能を身につけ、情報活用の実践力を養うことを目的として、「Google Workspace for Education」を学校の公式コミュニケーションツールとして活用しています。生徒と保護者にアカウントを配付し、学習コンテンツの提供、委員会・部活動の情報共有、学校と家庭の双方向の情報交換などに利用しています。

また、生徒には「Microsoft 365Education」のアカウントも配付し、各自の情報端末で Office 系アプリを無償で利用できる環境を整えています。

### 学び方のスキルと情報モラルの習得

情報の学習は中学・高校を通して体系的に積み重ねていきます。中学 1 年次には、図書館やパソコン室を活用しながら課題解決の方法や効果的なプレゼンテーションの手法を学びます。生徒は疑問に思ったことを資料で調べて考えをまとめ、協働学習を通して論理的思考力や表現力を身につけていきます。さらに、インターネット上のコミュニケーションのあり方や著作権、個人情報やプライバシーの重要性について考える機会も設けています。



## I 08 補習・講習

## 補 習

中学校では学習に遅れが見られる生徒を対象に数学・英語の補習を週に1回ずつ、放課後に30名から40名ほどで行っています。各教科2～3名の教員が担当し、定期考査ごとに入れ替えがあります。

## 教養講座・公開講座

夏休みと冬休み前の自宅学習期間に、高大連携の協定を結んでいる大学の先生方をはじめ、様々なジャンルの専門家、研究者、企業人の方々などをお招きし、関心や興味を持っていることをさらに深めたり、視野を広げたりするための教養講座を設けています。「社会（生き方）を知る」「職業を知る」「学問を知る」という3つの柱からなるプログラムで、原則として学年を問わず希望者を対象にしています。学年を超えて上級生と下級生と一緒にグループでの活動等を行う講座もあり、通常の授業とは異なる環境の中で、貴重な経験を積んでいきます。この講座を通して、自分自身のことや社会で起きていることなどに「気づき」を得て、高校卒業後の進路選択につなげていきます。

また、教養講座以外にも外部団体や大学主催によるセミナーにも多くの吉祥生が参加しています。その他、自分の可能性を高めたり、探究活動を行ったりする機会として外部団体のコンテストやコンクールにもチャレンジしています。

## 2025年度 1学期教養講座

講 座 名	講演者・講師
文化人類学とジェンダー・セクシュアリティ研究：どう交差する/させる？	国際基督教大学 文化人類学教授 ジェンダー研究センター副センター長 加藤 恵津子 先生
45億年の地球の歴史を読み解く&大学院生による講話	東京大学大学院 理学系研究科 教授 平田 岳史 先生 東京大学 大学院生
ウソの情報にだまされない！～科学的に「正しい」を見分ける力をつけよう～	東京理科大学 教育支援機構 教職教育センター 教授 大浦 弘樹 先生
水が出ない、トイレが使えない！？安心安全な上下水道を持続させる方法とは？	近畿大学 経営学部 教授 浦上 拓也 先生
東京医科大学 医療体験プログラム	東京医科大学病院の先生方

## 2025年度 2学期教養講座

講 座 名	講演者・講師
「株の力ー英語版ー」	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券/モルガン・スタンレー MUFG 証券/教育と探求社
東京農工大学 研究室訪問&卒業生との座談会	東京農工大学の先生方&本校の卒業生
チーム医療ー君は専門職についてどのくらい知ってる？～多職種連携ボードゲーム ENT！でチーム医療の実際を知ろう！～	順天堂大学医学部 人体病理病態学講座 MEdit Lab 順天堂大学 STEAM 教育研究会 小倉 加奈子 先生・發知 詩織 先生
憲法と私たち ～吉祥女子中学・高等学校の皆さんへ～	弁護士 伊藤 真 先生
東京科学大学（理工系）院生模擬授業 &卒業生による講話	東京科学大学 大学院生&本校の卒業生

## 高大連携について

本校では東京農工大学、東京外国語大学、東京学芸大学、国際基督教大学、順天堂大学、東京医科大学、東京理科大学と高大連携の協定を結んでいます。協定校の先生方による出張講義等を通して文理の垣根を越えた学びの結びつきやその深さに気づく機会を持っています。探究の授業では、大学生や大学院生がレクチャーをしてくれたり、校内講習では協定校の大学生がアシスタント・ティーチャーとしてサポートをしてくれることもあります。また、協定校を訪問し、本校の卒業生がキャンパスを案内し、大学についての説明をするイベントも行っており、大変好評です。

## 講習

夏休みには、7月下旬から8月下旬まで①～⑥期に分け、午前・午後に講習が行われます。1つの講座は1日3コマまたは4コマ（1コマ50分）で3日間となります。レベルや分野に応じた講座や教科横断型の講座などそれぞれの学びに対する意欲に応える講座を開講しています。弱点を補強したい教科やより高いレベルの内容に取り組みたい教科などを自由に組み合わせることで効果的に学習を進めることができます。2025年度は中学講座・高校講座を合わせて、107講座が設置され、のべ2,250名の生徒が受講しました。2026年度は3コマ×3日の講座は3,500円、4コマ×3日の講座は4,200円の予定です。

## 2025年度 夏期講習設置講座一覧

講座名	対象学年	講座名	対象学年	講座名	対象学年
高3英語文法・語法・構文テストゼミ	高3	理論化学特講①	高3	笠原講座 デザイン系 キックオフ編	高1～高3
高3英語速読多読語法文法	高3	理論化学特講②	高3	笠原講座 デザイン系 応用編	高1～高3
高3英語長文読解演習(発展)	高3	【理系生物】共通テスト対策演習	高3	笠原講座 デザイン系 仕上げ編	高1～高3
スタンダード数学ⅠAⅡBC	高3	【理系生物】二次・私大標準演習	高3	描いてみよう！デッサン基礎編	高1～高3
ハイレベル数学ⅠAⅡBC(関数)	高3	【理系生物】二次・私大発展演習	高3	実践！デザイン系デッサン講座	高1～高3
ハイレベル数学ⅠAⅡBC(図形)	高3	英文法・和文英訳講座	高2	実践！デザイン系 色彩構成講座	高1～高3
ハイレベル数学ⅠAⅡBC(整数)	高3	ベクトル(標準)	高2	中3英語(基礎)	中3
スタンダード数学Ⅲ	高3	ベクトル(応用)	高2	中3英語(標準～発展)	中3
ハイレベル数学Ⅲ(極限・微分)	高3	数ⅠⅡ関数(標準)	高2	古典演習	中3
ハイレベル数学Ⅲ(積分)	高3	数ⅠⅡ関数(応用)	高2	英語4技能トレーニング講座	中2
現代文記述演習	高3	現代文演習	高2	英語文法復習講座(基礎)	中2
国立大入試対策古典	高3	古典演習	高2	1次関数(標準)	中2
私大入試対策古典	高3	情報Ⅰプログラミング基礎	高2	1次関数(応用)	中2
情報Ⅰ演習	高3	物理Ⅱ体問題特講(標準)	高2	幾何(基礎)	中2
日本史テーマ別問題演習	高3	物理Ⅱ体問題特講(応用)	高2	代数(基礎)	中2
日本史論述対策入門	高3	物理単振動応用演習	高2	国語演習	中2
歴史総合(世界史)概説	高3	化学(標準～発展)	高2	楽しく英語を使って復習しよう！	中1
世界史論述「書き方」教室	高3	夏期講習「二次対策生物」α	高2	ロボットプログラミング入門	中1
欧米文化史特講	高3	長文読解・リスニング演習	高1	英検対策講座(3級)	中1～中2
戦後アジア史概説	高3	現代文演習	高1	2次関数(標準)	中3～高1
地理難関大対策記述演習	高3	古文(助動詞)復習	高1	2次関数(応用)	中3～高1
共通テスト地理演習	高3	Japan: The Story of a Nation	高1～高3	場合の数・確率	中3～高1
共通テスト倫理総特訓	高3	スピーキング講座	高1～高3	4次元を見られるようになる	中3～高2
政治・経済(人権と平和主義)	高3	ライティング講座	高1～高3	朗読・読書・文学散歩	中1～高1
政治・経済(日本の統治機構)	高3	哲学対話に挑戦！	高1～高3	使って学ぼう！カメラの使い方	中1～高2
物理入試演習ゼミ電磁気編(標準)	高3	図形と方程式(標準)	高1～高2	調理実習&食品サンプル作り！	中1～中3
電磁誘導・コンデンサー最難関対策	高3	図形と方程式(応用)	高1～高2	始めてみよう！デッサン入門編A	中1～中3
物理入試演習ゼミ力学編(標準)	高3	数列(標準)	高1～高2	石膏像を描いてみよう！	中1～中3
有機化学特講①(脂肪族)	高3	数列(応用)	高1～高2	立体図形とデッサン	中1～中3
有機化学特講②(芳香族)	高3	金融リテラシー向上講座	高1～高2		

## I 09 課外授業

課外授業は専門の先生を校内にお招きし、放課後に開講されます。遠方からの通学で「習い事」が難しい生徒も含めて、校内で教養を高めることができます。年度ごとに受講講座を選ぶことができます。技術の進歩に応じて免状または修了証を授与する講座もあります。中学全体で約 25%、高校全体で約 13%の生徒が受講しています。

### 2026 年度 課外授業講座一覧

講座	曜日	時間	年額授業料	場所	指導者	
ピアノ ① 30分レッスン ② 15分レッスン	月～金 土	3:50～ 1:15～	① 108,900円 ② 54,900円	レッスン室①③④	八十嶋 洋子	
					光枝 まり	
					蓼沼 恵美子	
					小宮 尚子	
					新庄 涼子	
声楽 ① 30分レッスン ② 15分レッスン	月～金 土	3:50～ 1:15～	① 108,900円 ② 54,900円	第二音楽室	小川 哲生	
					井上 由紀	
ヴァイオリン ① 個人レッスン ② グループレッスン	火 金 土	3:50～ 1:15～	① 57,600円 ② 39,600円	ソルフェージュ室	前田 みねり	
				レッスン室④	鈴木 桂子	
チェロ ① 個人レッスン ② グループレッスン	火	3:50～	① 57,600円 ② 39,600円	レッスン室③	竹本 聖子	
フルート ① 個人レッスン ② グループレッスン	月 土	3:50～ 1:15～	① 57,600円 ② 39,600円	ソルフェージュ室	大島 勤子	
トランペット ① 個人レッスン ② グループレッスン	月 水	3:50～	① 57,600円 ② 39,600円	第一音楽室	西島 祐子	
クラリネット ① 個人レッスン ② グループレッスン	水 土	3:50～ 1:15～	① 57,600円 ② 39,600円	レッスン室③ 第一音楽室	村上 あづみ	
ミュージックラボ I II	I 水 II 木	3:50～	40,500円	ソルフェージュ室	福井 香菜子	
中学美術	土	1:40～	* 41,400円	アトリエ 工芸室	森田 りと子 鈴木 伊美 笠原 出 森田 春菜 山本 恵海 大竹 口 瞳	
高校造形	週1回	土	1:40～			50,000円
	週2回	木と金	3:50～			50,000円
	週3回	木と金 土	3:50～ 1:40～			108,000円
華道(草月流)	水	3:50～	* 54,900円	多目的室⑨	むらもと翠亜	
茶道(裏千家)	木 土	3:50～ 1:00～	* 40,500円	祥文館1階和室	細淵 宗世	
箏曲(生田流)	金	3:50～	38,700円	祥文館1階和室	神崎 歌子	
中国語会話	月または火	3:50～	36,000円	多目的室⑫	胡 婉如	
着付	月	3:50～	34,200円	祥文館1階和室	映末 以子	
日本舞踊(坂東流)	火	3:50～	38,700円	祥文館1階和室	坂東 三太映	
バレエ	水	3:50～	54,000円	トレーニングルーム	天木 真那美	
中2・中3英会話	月	3:50～	40,000円	多目的室③	D. カントリマン	
中学英語外部試験対策 A1	金	3:50～	36,000円		C. ガルシア	
中学英語外部試験対策 A2	水	3:50～	36,000円			
高校英語外部試験対策	木	3:50～	40,000円		D. カントリマン	

※年額授業料のほかに各講座、維持費年額 1,000円(ピアノは 2,000円)がかかります。

※年額授業料欄の\*印は材料費等を含んだ金額です。美術は教材を事前に用意しますのでやむを得ず中選される場合でも、学期末までの教材分は納めていただくこととなります。

※管楽器の個人レッスンは、楽器の準備を含めて約 20分です。

※茶道はお道具代として別途約 7,000円がかかります。

※中学美術 4,000円、高校造形 高1生は週1～2回 4,000円、週3回 8,000円、高2生・高3生は週1～2回 8,000円、週3回 16,000円。

※上記の年額授業料は基本的に中学1年生の金額です。中学2年生以上はレッスンの開始時期が早いので、金額がおおよそ1割くらいずつ高くなります。

## I 10 学校生活

### 生徒指導 ～自由な中にも規律ある校風～

本校は自由な中にも規律ある校風のもとで、生徒の人ひとりが伸び伸びと自分を生かせることを期待しています。この自由には必ず責任をとらなければなりませんから、生徒は自分自身に対してはもちろん、友人や学校さらに社会に対しても、さまざまな責任を自覚することが大切です。そのためには自分の良心によって事の是非を判断する知性と、周囲の人々を思いやる豊かな感性と、自分の言動に責任をとる能力とが一体となった人間をめざした自己研鑽が求められています。

本校では、この趣旨にそって次の目標をかかげ、各自が誇りをもってこの校風を守り充実した学園生活を過ごすための最小限度の生徒心得を決めています。

1. 自律の精神を育みましょう  
自分のモラルと集団のルールによって責任のある行動をとりましょう。
2. 自主性を育みましょう  
何事にも自ら進んで積極的に取り組みましょう。
3. 自立心を育みましょう  
人にたよらず、人に迷惑をかけず、自分らしく生きぬく力を身につけましょう。

### ■ 時程表

	平 常	短 縮
予 鈴	8 : 25	8 : 25
朝 礼	8 : 30 ~	8 : 30 ~
1 時限	8 : 40 ~ 9 : 30	8 : 40 ~ 9 : 20
2 時限	9 : 40 ~ 10 : 30	9 : 30 ~ 10 : 10
3 時限	10 : 40 ~ 11 : 30	10 : 20 ~ 11 : 00
4 時限	11 : 40 ~ 12 : 30	11 : 10 ~ 11 : 50
昼休み	12 : 30 ~ 13 : 20	11 : 50 ~ 12 : 30
予 鈴	13 : 15	12 : 25
5 時限	13 : 20 ~ 14 : 10	12 : 30 ~ 13 : 10
6 時限	14 : 20 ~ 15 : 10	13 : 20 ~ 14 : 00
終 礼	15 : 10 ~	14 : 00 ~
完全下校完了	中 1 は 17 : 00 まで、中 2・3 は 18 : 00 まで	

※時程は、交通機関の大幅な遅れや台風・大雪・感染症対策等で変更される場合があります。

### ■ カウンセリングルーム

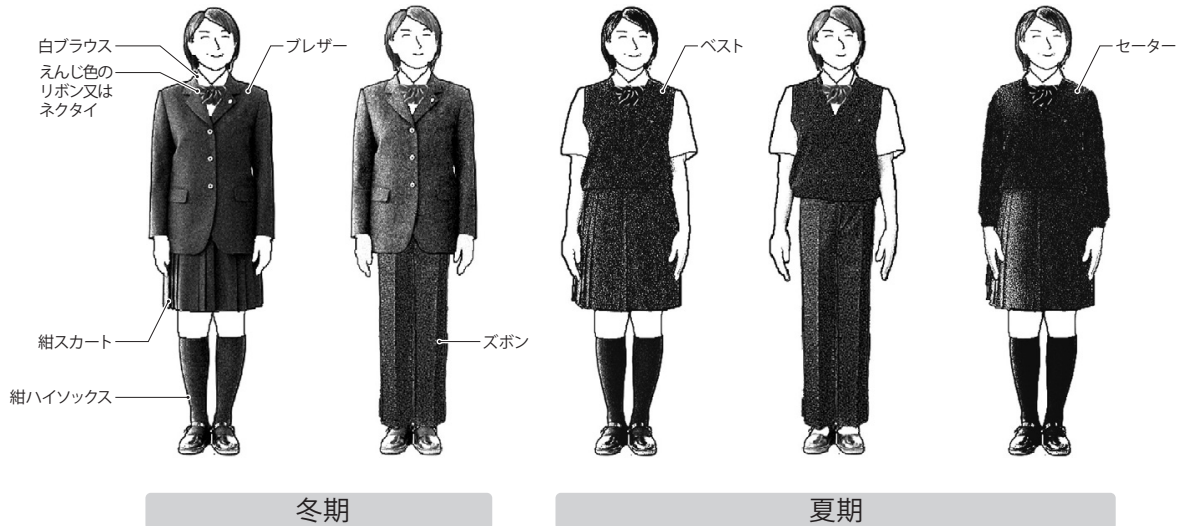
カウンセリングルームでは、専門のカウンセラーが、プライバシーに留意しながら、生徒のカウンセリングを行っています。生徒の利用のみならず、保護者の方々のお子様についての相談もお受けしています。

- [相談日] ・月曜日から土曜まで = 10 : 00 ~ 17 : 00  
 ・月 (第 1・3・5) ・金 (第 2・4) は閉室です。

# I 11 制服

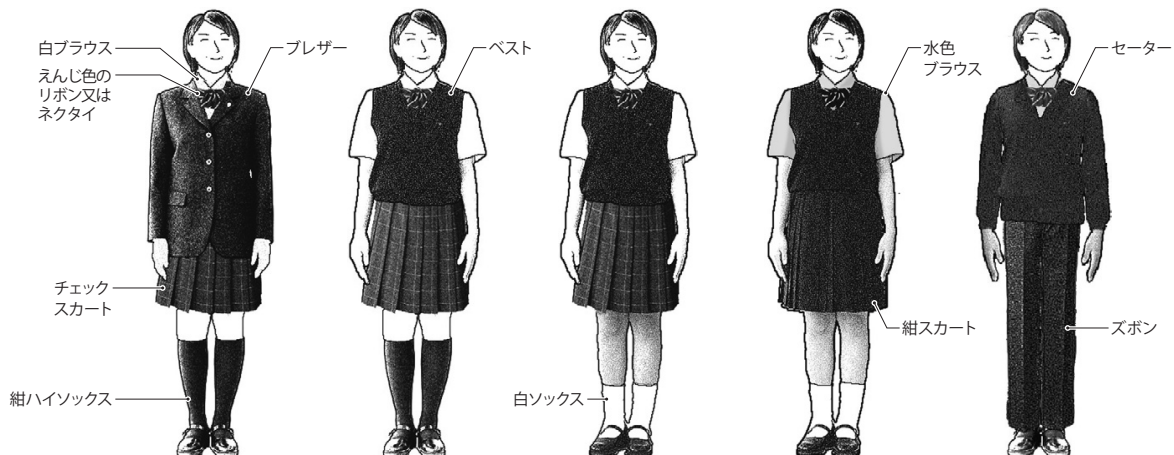
## 正装時 〈式典時〉

- ブレザー、紺無地スカート又はズボンを着用する。ただし夏期はブレザーを着用しなくてよい。
- 白ブラウス、紺の指定ハイソックス（ズボン着用時は白の指定ソックスも可）を着用する。中学生はえんじ色のリボン又はネクタイを、高校生は紺色のリボン又はネクタイを着用する。
- セーターやベストは随時着用してよい。



## 平常時

- ブレザーは12月～3月まで登下校時に着用する。
- スカートは紺無地でもチェックでもよい。またズボンでもよい。
- ブラウスは白でも水色でもよい。一年を通じて半袖・長袖どちらを着用してもよい。
- 中学生はえんじ色のリボン又はネクタイを必ず着用する。高校生の紺色のリボン又はネクタイの着用は任意。
- くつ下は年間を通じて紺の指定ハイソックスを着用する。ただし、夏期及びズボン着用時は白の指定ソックスを着用してもよい。冬期は必要に応じて黒タイツを着用してもよい。その場合、ソックスを併用する場合は、黒無地のものを着用する。
- セーターやベストは随時着用してよい。また、夏期は指定紺色ポロシャツを着用してよい。



# I 12 生徒会活動

## 生徒会活動 ～自主自律、連帯感、そして挑戦～

学校生活では、学校行事、ホームルーム、委員会・部活動をはじめとする生徒会活動等の教科外活動も重要な役割を果たし、日頃の授業や教室からは学ぶことのできない、貴重な体験をしています。

### 委員会

生徒会役員会を中心に、さまざまな行事を企画運営しています。

- 生徒会役員会
- 文化
- 生活向上
- 図書
- 放送
- 園芸
- 保健
- 体育
- 新聞
- IT

### 運動系部

- バレーボール
- ソフトボール
- テニス
- バスケットボール
- 弓道
- 水球
- ダンス
- バドミントン
- 剣道
- スキー
- 卓球
- サッカー
- 陸上



弓道部



ダンス部



バスケットボール部

### 文化系部

- 吹奏楽
- 演劇
- コーラス
- 文芸
- 英語ミュージカル
- 科学
- 生物
- 映画研究
- クッキング
- 写真
- 漫画研究
- 軽音 (高校生のみ)
- 天文
- ボイスレスパフォーマンス
- アフレコ
- 書道
- 歴史
- 競技かるた
- クイズ研究
- 美術
- TRPG



英語ミュージカル部



軽音部



コーラス部

### 同好会

- ボードゲーム

## I 13 進路・進学

### 中学 1 年 **目標** 「環境」を手がかりに社会と自分のつながりを考える

- 進路・生き方を考えるプログラム
  - ・ 社会人へのインタビューとレポート作成 [夏課題]
  - ・ 社会問題レポート作成 [2～3 学期] … クラス代表者によるプレゼンテーション
  - ・ 高3 生座談会
- 教養・視野を広げるためのプログラム
  - ・ 教養講座
  - ・ 外部講演会参加や大学等による出張講義
- 進路ガイダンス 1 回 (3 月)
- 「吉祥進学」や吉祥進学 Express 等による学習方法・受験情報・進路行事報告等の提供
- Google Classroom による公開講座やコンテストに関する情報提供
- 外部模試 1 回 (ベネッセ 1 月)

### 中学 2 年 **目標** 「福祉」を手がかりに社会に貢献する生き方を考える 学問への興味・関心を育てる

- 進路・生き方を考えるプログラム
  - ・ ボランティアレポート作成 [夏課題]
  - ・ 福祉・ボランティアに関するクラスディスカッション
  - ・ 体験学習 (ハンディキャップ体験など)
  - ・ 福祉関係の講演会
  - ・ 高3 生座談会
- 教養・視野を広げるためのプログラム
  - ・ 教養講座
  - ・ 外部講演会参加や大学等による出張講義
- 進路ガイダンス 1 回 (3 月)
- 「吉祥進学」や吉祥進学 Express 等による学習方法・受験情報・進路行事報告等の提供
- Google Classroom による公開講座やコンテストに関する情報提供
- 外部模試 1 回 (ベネッセ 1 月)

### 中学 3 年 **目標** 「平和と国際理解」を手がかりに学問に対する関心を深める ドリームマップを作成し、具体的な進路を想像する

- 進路・生き方を考えるプログラム
  - ・ 「平和」をテーマにした探究活動 (探究スキルの育成、探究発表会)、道徳と連携して実施
  - ・ 「ドリームマップ～これまでの自分を振り返り、今後の自分を想像する～」
  - ・ 卒業生 (社会人) 講演会
  - ・ 卒業生 (大学生) 座談会
- 教養・視野を広げるためのプログラム
  - ・ 教養講座
  - ・ 外部講演会参加や大学等による出張講義
  - ・ 大学訪問、企業訪問
- 進路ガイダンス 1 回 (1 月)
- 「吉祥進学」や吉祥進学 Express 等による学習方法・受験情報・進路行事報告等の提供
- Google Classroom による公開講座やコンテストに関する情報提供
- 外部模試 1 回 (ベネッセ 1 月)

**高校1年** **目標** 女性の生き方・職業観の育成・学部学科の選定

- 進路・生き方を考えるプログラム
  - ・「大学入試のしくみ」
  - ・学部学科レポート作成 [夏課題] … クラス代表者によるプレゼンテーション
  - ・文理芸選択説明会
  - ・卒業生（大学生）によるパネルディスカッション
  - ・卒業生（大学生）座談会
- 教養・視野を広げるためのプログラム
  - ・教養講座
  - ・外部講演会参加や大学等による出張講義
  - ・大学訪問、企業訪問
- 進路ガイダンス2回（4・9月）
- 「吉祥進学」や吉祥進学 Express 等による学習方法・受験情報・進路行事報告等の提供
- Google Classroom による公開講座やコンテストに関する情報提供
- 外部模試2回（ベネッセ7月、河合塾2月）

**高校2年** **目標** 学部学科の選定・第一志望校の設定

- 進路・生き方を考えるプログラム
  - ・大学訪問レポート作成 [夏課題]
  - ・選択科目説明会
  - ・卒業生を囲む会： 現役大学生・大学院生による分科会形式
  - ・卒業生（大学生）座談会
- 教養・視野を広げるためのプログラム
  - ・教養講座
  - ・外部講演会参加や大学等による出張講義
  - ・大学訪問、企業訪問
- 進路ガイダンス3回（5・10・2月）
- 「吉祥進学」や吉祥進学 Express 等による学習方法・受験情報・進路行事報告等の提供
- Google Classroom による公開講座やコンテストに関する情報提供
- 外部模試3回（ベネッセ2回7・11月、河合塾2月）

**高校3年** **目標** 進路目標の達成

- 進路・生き方を考えるプログラム
  - ・文化人による講演会（社会で活躍する女性による講演会）
  - ・卒業生（大学生）座談会
- 教養・視野を広げるためのプログラム
  - ・教養講座
  - ・外部講演会参加や大学等による出張講義
- 進路ガイダンス5回（6・8・10・1・3月）
- 「吉祥進学」や吉祥進学 Express 等による学習方法・受験情報・進路行事報告等の提供
- Google Classroom による公開講座やコンテストに関する情報提供
- 外部模試5回（駿台・ベネッセ1回10月、河合塾4回4・8・10・11月）

---

\*各課題（レポート）は文化祭（吉祥祭）展示のほか、HR でのプレゼンテーション、ディスカッションなどに利用します。

本校の卒業生数・大学進学者数 2026～2022年

系 統	2026		2025		2024		2023		2022	
	卒業生数	進学者数	卒業生数	進学者数	卒業生数	進学者数	卒業生数	進学者数	卒業生数	進学者数
文 芸 系	94	84	109	97	124	108	120	111	130	119
理 系	138	109	159	108	149	120	122	81	118	91
合 計	232	193	268	205	273	228	242	192	248	210

本校の大学別合格者数 2026～2022年

■ 国公立大学

大学名	2026		2025		2024		2023		2022	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
北海道大	4	2	4	3	2	2	2	1	8	8
帯広畜産大	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0
北見工業大	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
岩手大	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
東北大	5	4	5	5	8	6	0	0	3	3
山形大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
筑波大	2	2	5	5	2	2	3	3	3	3
群馬大	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0
埼玉大	0	0	1	1	0	0	1	0	2	1
千葉大	1	1	4	3	2	2	3	2	1	1
東京大	6	6	3	3	1	1	6	4	3	3
東京科学大 <small>(旧駒沢大)</small>	12	12	6	6	1	1	1	1	2	2
東京科学大 <small>(旧東工大)</small>					8	6	2	2	3	2
東京外国語大	2	2	2	1	3	3	2	2	5	5
東京学芸大	3	3	0	0	4	4	2	2	2	2
東京農工大	10	7	7	6	8	8	7	6	5	4
東京芸大	2	1	0	0	1	0	0	0	1	0
東京海洋大	1	1	0	0	0	0	2	2	2	2
お茶の水女子大	6	5	2	2	2	2	3	2	4	4
電気通信大	1	1	2	2	0	0	1	1	1	1
一橋大	5	4	5	5	7	7	6	5	8	8
横浜国立大	2	2	1	1	2	1	2	1	3	2
新潟大	1	0	1	1	0	0	1	1	0	0
山梨大	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0
信州大	3	2	3	3	4	2	0	0	1	0
金沢大	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
静岡大	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
浜松医科大	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
名古屋大	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0
滋賀医科大	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
京都大	1	1	0	0	4	3	0	0	1	1
京都工芸繊維大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪大	3	2	0	0	4	4	2	0	2	2
神戸大	1	0	2	2	1	1	0	0	0	0
鳥取大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根大	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
岡山大	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
広島大	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
愛媛大	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
九州大	1	1	0	0	3	3	0	0	1	0
九州工業大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀大	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
長崎大	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
熊本大	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
大分大	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1
宮崎大	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
鹿児島大	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
琉球大	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0
国際教養大	0	0	0	0	2	2	0	0	1	1
福島県立医科大	3	3	1	1	0	0	1	1	0	0
東京都立大	6	4	7	7	6	5	6	5	2	2
横浜市立大	4	4	1	1	1	1	0	0	0	0
金沢美術工芸大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡県立大	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
名古屋市立大	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
京都府立医科大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
防衛大学校	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
防衛医科大学校	3	2	1	0	1	1	1	0	3	3
国立看護大学校	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
合 計	99	76	75	68	85	71	63	46	74	63

■ 私立大学 \*は推薦指定校

大学名	2026		2025		2024		2023		2022	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
酪農学園大	1	0	4	4	2	0	2	2	0	0
岩手医科大	2	0	1	0	2	0	1	1	1	0
東北医科薬科大	1	0	1	0	3	1	0	0	5	5
国際医療福祉大*	6	3	3	2	3	3	7	2	7	4
埼玉医科大	4	2	2	1	3	1	0	0	2	0
青山学院大*	54	51	48	39	51	46	38	36	56	53
麻布大*	1	1	6	6	2	2	6	6	4	3
学習院大*	21	20	22	14	10	9	16	15	12	11
北里大*	11	10	11	9	17	16	15	13	11	8
杏林大	11	5	8	2	9	8	15	11	16	11
慶應義塾大*	57	52	47	42	51	47	38	31	62	57
工学院大*	12	10	32	29	28	18	14	12	10	9
國學院大	6	6	7	7	11	9	8	7	5	5
国際基督教大*	4	4	5	5	3	2	5	5	1	1
駒澤大	3	3	6	6	9	9	5	2	10	9
芝浦工業大*	35	29	47	45	29	21	27	23	34	25
順天堂大*	10	8	3	2	12	12	12	11	6	5
上智大	76	72	62	49	60	55	70	67	46	46
昭和医科大*	4	0	6	6	7	3	9	6	13	8
成蹊大*	17	13	10	9	20	18	19	17	8	6
成城大*	7	7	6	6	14	14	9	9	11	11
聖路加国際大*	1	1	2	2	2	1	2	2	1	1
専修大	4	4	10	10	15	15	11	9	16	15
多摩美術大	11	9	16	15	3	0	8	8	10	10
中央大*	52	47	69	62	92	88	96	88	81	79
津田塾大*	6	6	18	14	18	16	16	16	24	23
帝京大	7	4	5	4	13	11	12	8	7	4
東海大*	4	2	1	0	6	4	4	4	16	16
東京医科大	7	4	1	1	3	2	3	3	8	5
東京歯科大*	2	1	2	2	0	0	0	0	2	1
東京慈恵会医科大	4	2	2	1	2	2	1	1	2	2
東京女子大*	27	27	35	32	64	52	59	58	60	54
東京女子医科大	3	1	2	2	1	0	4	1	4	2
東京電機大*	11	3	9	6	3	2	5	4	16	8
東京都市大*	11	1	12	10	13	13	4	4	7	7
東京農業大*	20	14	10	5	17	10	12	8	28	28
東京薬科大*	15	10	6	6	17	15	9	8	6	5
東京理科大*	111	93	70	58	113	97	51	36	49	43
東邦大*	11	6	5	4	5	4	11	8	7	6
東洋大	29	25	26	19	34	30	24	19	53	47
日本大*	32	23	28	21	44	30	46	36	51	39
日本医科大*	6	4	3	1	3	2	0	0	3	0
日本獣医生命科学大*	4	3	10	8	6	5	5	5	6	5
日本女子大*	36	30	14	10	40	36	30	27	43	40
日本赤十字看護大*	1	1	2	2	6	2	2	2	3	3
法政大*	57	50	76	66	85	72	76	63	86	74
星薬科大*	5	1	5	5	17	17	5	5	7	7
武蔵大*	5	3	10	6	4	6	6	6	3	3
武蔵野大*	35	18	8	3	37	29	11	11	12	11
武蔵野美術大*	11	10	13	11	11	9	10	10	6	6
明治大*	149	138	117	109	146	129	120	106	111	99
明治学院大	8	7	15	10	10	8	7	7	11	9
明治薬科大*	3	0	8	8	15	13	14	14	3	3
立教大*	90	85	85	73	76	63	87	81	93	91
早稲田大*	121	112	104	93	76	67	75	68	82	77
聖マリアンナ医科大	5	1	2	1	0	0	3	1	2	0
同志社大	6	6	4	3	5	2	1	1	7	7
立命館大*	6	6	2	2	8	3	4	0	12	9
関西大	2	2	0	0	2	1	0	0	1	1
関西学院大	4	4	6	6	2	1	1	1	0	0
その他私立大	129	90	113	76	104	82	118	105	98	80
合 計	1,394	1,150	1,263	1,054	1,466	1,231	1,269	1,110	1,357	1,197

海外大学

系 統	2026		2025		2024		2023		2022	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
Brown University									1	1
Carleton College									1	1
Czech Medical Universities							1			
DePauw University					1	1			1	1
Durham University			1	1						
Earlham College							1	1	1	1
Grinnell College					1	1	1	1	1	1
Haverford College									1	1
Hungarian Medical Universities							1			
INTO University of Manchester									1	1
Knox College							1	1	1	1
Lake Forest College							1	1	1	1
McGill University							2	2		
Semmelweis University	1									
Swarthmore College									1	1
The University of Auckland			1							

系 統	2026		2025		2024		2023		2022	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
The University of Edinburgh							1	1		
The University of Glasgow			1	1			1	1		
The University of Manchester							1	1		
The University of Queensland							1	1		
University College Dublin			1	1						
University College London									1	1
University of Reading							1	1		
University of Southampton							1	1		
University of St Andrews							1	1		
University of Stirling			1	1						
University of Sussex			1	1						
Wesleyan University									1	1
Williams College									1	1
York University							1	1		
輔 仁 大 學									1	1

指定校推薦入試

大学名	2026		2025		2024		2023		2022	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
早 稲 田 大	5	5	5	5	6	6	3	3	7	7
慶 應 義 塾 大	3	3	3	3	1	1	2	2	3	3
国 際 基 督 教 大	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0
明 治 大	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1

大学名	2026		2025		2024		2023		2022	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
立 教 大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
北 里 大	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
立 命 館 大	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合 計	10	10	9	9	9	9	6	6	13	13

医学部医学科

大学名	2026		2025		2024		2023		2022	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
北 海 道 大	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
東 北 大	0	0	1	1	2	1	0	0	1	1
筑 波 大	1	1	1	1	0	0	2	2	0	0
群 馬 大	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0
新 潟 大	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0
山 梨 大	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0
信 州 大	2	1	2	2	3	2	0	0	0	0
金 沢 大	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
浜 松 医 科 大	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
名 古 屋 大	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
滋 賀 医 科 大	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
神 戸 大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島 根 大	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
大 分 大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
宮 崎 大	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
琉 球 大	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
福 島 立 医 科 大	3	3	1	1	0	0	1	1	0	0
横 浜 市 立 大	4	4	0	0	1	1	0	0	0	0
京 都 府 立 医 科 大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
防 衛 医 科 大 学 校	3	2	1	0	1	1	1	0	1	1
岩 手 医 科 大	2	0	1	0	2	0	1	1	1	0
東 北 医 科 薬 科 大	1	0	1	0	3	1	0	0	3	3
国 際 医 療 福 祉 大	6	3	2	1	3	3	4	2	4	2
獨 協 医 科 大	0	0	1	0	6	4	1	0	0	0
埼 玉 医 科 大	4	2	2	1	3	1	0	0	2	0
北 里 大	1	0	0	0	3	3	4	2	4	1
杏 林 大	10	4	3	2	3	2	6	3	11	6
慶 應 義 塾 大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
産 業 医 科 大	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
順 天 堂 大	7	6	1	0	4	4	3	3	3	2
昭 和 医 科 大	4	0	3	3	3	1	5	3	5	3
帝 京 大	5	2	1	0	7	5	2	0	2	0
東 海 大	3	1	1	0	3	1	2	2	1	1
東 京 医 科 大	7	4	1	1	3	2	3	3	8	5
東 京 慈 恵 会 医 科 大	4	2	1	0	2	2	1	1	0	0
東 京 女 子 医 科 大	3	1	1	1	1	0	4	1	2	0
東 邦 大	8	4	2	2	0	0	2	1	3	2
日 本 大	1	0	0	0	3	0	1	0	3	0
日 本 医 科 大	6	4	3	1	3	2	0	0	3	0
川 崎 医 科 大	0	0	1	0	2	0	0	0	1	0
聖 マリアンナ 医 科 大	5	1	2	1	0	0	3	1	2	0
金 沢 医 科 大	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
愛 知 医 科 大	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0
藤 田 医 科 大	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0
関 西 医 科 大	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
兵 庫 医 科 大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
合 計	95	46	37	21	69	43	51	28	69	30

薬学

大学名	2026		2025		2024		2023		2022	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
大 阪 大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
静 岡 県 立 大	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
東 北 医 科 薬 科 大	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
国 際 医 療 福 祉 大	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1
高 崎 健 康 福 祉 大	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
北 里 大	3	3	3	3	7	7	4	4	3	3
慶 應 義 塾 大	6	4	4	4	12	11	1	0	3	2
順 天 堂 大	1	0	0	0	4	4	-	-	-	-
昭 和 医 科 大	0	0	1	1	3	2	2	1	2	1
昭 和 薬 科 大	0	0	2	2	3	3	4	4	2	1
帝 京 大	1	1	1	1	0	0	2	2	0	0
帝 京 平 成 大	0	0	2	2	0	0	0	0	1	1
東 京 薬 科 大	6	3	4	4	13	12	5	5	4	4
東 京 理 科 大	6	4	5	5	13	11	4	4	5	3
東 邦 大	0	0	1	0	3	2	5	4	0	0
日 本 大	0	0	0	0	0	0	4	4	0	0
星 薬 科 大	5	1	5	5	17	17	5	5	7	7
武 蔵 野 大	5	1	3	1	9	8	2	2	1	1
明 治 薬 科 大	3	0	8	8	15	13	14	14	3	3
同 志 社 女 子 大	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
大 阪 医 科 薬 科 大	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
近 畿 大	0	0	0	0	0	0	6	6	0	0
合 計	38	19	39	36	99	90	61	56	38	32

芸術系学科

大学名	2026		2025		2024		2023		2022	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
筑波大*芸術専門学群	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
お茶の水女子大*芸術学科	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
金沢美術工芸大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東京芸術大	2	1	0	0	1	0	0	0	1	0
桜美林大*芸術文化学部	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
武蔵野美術大	11	10	13	11	11	9	10	10	6	6
多摩美術大	11	9	16	15	3	0	8	8	10	10
東京工芸大	0	0	5	5	1	1	3	3	2	2
東京造形大	1	1	4	4	6	6	6	6	1	1
女子美術大	1	1	0	0	1	1	4	4	2	2
城西国際大*メディア学部	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
文教大*美術専修	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
国立音楽大	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
昭和音楽大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
桐朋学園大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
大阪芸術大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
立命館大*映像学部	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
京都工芸繊維大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	34	29	41	38	25	19	31	31	23	22

本校の大学別進学者数 2026～2022年

■ 国公立大学

大学名	2026		2025		2024		2023		2022	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
北海道大	4	2	3	2	2	2	2	1	8	8
帯広畜産大	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0
北見工業大	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
岩手大	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
東北大	5	4	5	5	8	6	0	0	3	3
山形大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
筑波大	2	2	5	5	2	2	3	3	3	3
群馬大	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0
埼玉大	0	0	1	1	0	0	1	0	2	1
千葉大	1	1	3	2	2	2	2	1	0	0
東京大	6	6	3	3	1	1	6	4	3	3
東京科学大(旧東経科大)	12	12	6	6	1	1	1	1	2	2
東京科学大(旧東工大)					8	6	2	2	3	2
東京外国語大	2	2	2	1	3	3	1	1	4	4
東京学芸大	3	3	0	0	4	4	2	2	2	2
東京農工大	8	5	5	5	8	8	7	6	5	4
東京芸術大	2	1	0	0	1	0	0	0	1	0
東京海洋大	1	1	0	0	0	0	2	2	1	1
お茶の水女子大	6	5	2	2	2	2	3	2	3	3
電気通信大	1	1	2	2	0	0	1	1	1	1
一橋大	5	4	5	5	7	7	6	5	7	7
横浜国立大	1	1	0	0	1	1	2	1	1	0
山梨大	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
信州大	3	2	2	2	3	2	0	0	1	0
浜松医科大	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
名古屋大	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0
滋賀医科大	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
京都大	1	1	0	0	4	3	0	0	1	1
京都工芸繊維大	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪大	3	2	0	0	4	4	2	0	1	1
神戸大	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0
鳥取大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
島根大	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
岡山大	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
広島大	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
愛媛大	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
九州大	1	1	0	0	3	3	0	0	1	0
九州工業大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀大	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
長崎大	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
大分大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
宮崎大	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
鹿児島大	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
琉球大	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0
国際教養大	0	0	0	0	2	2	0	0	1	1
福島県立医科大	3	3	1	1	0	0	1	1	0	0
東京都立大	4	2	6	6	4	3	3	2	1	1
横浜市立大	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0
金沢美術工芸大	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡県立大	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
京都府立医科大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
防衛大学校	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
合計	87	66	62	57	78	67	55	39	59	48

■ 私立大学

大学名	2026		2025		2024		2023		2022	
	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役	合計	現役
東北医科薬科大	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
国際医療福祉大	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0
獨協医科大	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
埼玉医科大	2	0	2	1	2	0	0	0	0	0
青山学院大	4	3	5	3	11	10	9	9	11	10
麻布大	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
学習院大	0	0	3	3	5	4	4	4	1	1
北里大	2	2	1	1	2	2	4	3	1	1
杏林大	4	1	2	1	1	0	4	3	3	2
国立音楽大	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
慶應義塾大	22	21	23	20	23	21	17	15	32	30
工学院大	0	0	1	1	2	1	1	1	3	2
國學院大	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0
国際基督教大	1	1	4	4	1	1	3	3	0	0
駒澤大	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
芝浦工業大	4	3	5	5	3	2	1	1	5	3
順天堂大	2	2	1	1	3	3	1	1	2	2
上智大	9	7	8	5	8	6	19	17	2	2
昭和医科大	2	0	0	0	3	1	3	1	2	1
昭和女子大	1	1	0	0	0	0	2	2	2	1
昭和薬科大	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0
白百合女子大	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
成蹊大	0	0	2	2	1	1	0	0	1	0
成城大	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
聖心女子大	0	0	1	0	1	1	2	1	1	1
聖路加国際大	0	0	2	2	0	0	0	0	1	1
専修大	1	1	1	1	1	1	0	0	1	0
多摩美術大	5	4	5	4	0	0	1	1	3	3
中央大	3	3	7	6	11	11	8	7	7	6
津田塾大	0	0	1	0	3	1	0	0	0	0
帝京大	0	0	2	1	3	2	0	0	1	0
東海大	2	1	0	0	0	0	0	0	1	1
東京医科大	1	1	1	1	1	1	0	0	4	1
東京歯科大	1	0	2	2	0	0	0	0	0	0
東京慈恵会医科大	3	2	1	0	1	1	1	1	0	0
東京女子大	0	0	2	2	3	2	4	4	3	3
東京女子医科大	0	0	0	0	1	0	3	0	1	0
東京電機大	1	0	2	1	1	1	1	1	1	1
東京都市大	2	1	2	1	2	2	0	0	0	0
東京農業大	5	2	0	0	1	1	1	1	2	2
東京薬科大	2	2	0	0	1	1	1	1	1	1
東京理科大	9	5	15	10	16	13	10	8	3	3
東邦大	0	0	1	1	0	0	2	1	1	1
桐朋学園大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
東洋大	1	1	2	1	0	0	3	1	0	0
日本大	3	1	4	1	3	1	1	0	2	2
日本医科大	2	1	1	0	0	0	0	0	2	0
日本歯科大	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
日本獣医生命科学大	0	0	2	0	1	1	0	0	2	2
日本女子大	2	0	1	1	3	3	2	1	7	6
日本赤十字看護大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
法政大	3	3	4	4	4	3	9	8	7	5
星薬科大	2	0	1	1	1	1	1	1	3	3
武蔵大	1	0	1	1	1	0	1	1	0	0
武蔵野大	1	1	2	0	1	1	0	0	0	0
武蔵野美術大	4	3	3	2	7	6	4	4	2	2
明治大	14	12	13	12	15	13	13	12	19	16
明治薬科大	0	0	2	2	0	0	0	0	2	2
立教大	2	2	5	4	6	6	8	8	8	8
早稲田大	40	36	36	32	31	27	20	19	29	27
聖マリアンナ医科大	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
藤田医科大	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0
同志社大	1	1	0	0	0	0	0	0	2	2
立命館大	0	0	2	2	0	0	0	0	1	1
関西医科大	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
関西学院大	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0
その他私立大	3	1	7	4	5	2	8	6	5	2
合計	172	127	192	148	197	160	179	150	192	161

## I 14 国際交流

本校は 1976 年にアメリカ・マサチューセッツ州ボストン近郊にある私立の名門校ウォルナット・ヒル・スクール (WHS) と姉妹校関係を結んで以来、オーストラリア、カナダ、中国、韓国、ベトナムにそれぞれの交流の輪を広げ、総計 11 の姉妹校・パートナーズスクール・友好校を持つに至りました。

本校の海外交流はこれらの姉妹校・友好校との交流を中心に行われてきました。特に高校生を対象にした夏休みの短期留学は当初アメリカの WHS から始まり、2004 年よりオーストラリアのニューイングランド・ガールズ・スクール (NEGS)、2015 年より、イプスウィッチ・ガールズ・グラマースクール (IGGS) に移っています。約 50 年間に 1,700 人近い生徒が参加し、更に引率した教員の数も 100 名を超えます。毎年、オーストラリアの IGGS とカナダのクイーン・マーガレット・スクール (QMS)、セイント・マーガレット・スクール (SMS)、アメリカのミス・ポーターズ・スクール (Porter's)、セイント・メアリーズ・スクール (Mary's) を中心に 8 名程度が一年留学しています。短期留学生の受け入れもしています。

### ■カリキュラムに含まれているもの

#### ・カナダ研修ツアー

35 年以上にわたり中学 3 年生を対象にホームステイを中心とした研修ツアーを、毎年秋に行ってきました。姉妹校 QMS または現地校訪問、ビクトリアやその近郊でのホームステイ、ビクトリア・バンクーバー観光等を含む約 1 週間のツアーです。英語・英会話の授業を中心に入念な事前学習を経て実施します。2023 年以降は高校 1 年生にて実施しています。費用は約 73 万円です。

### ■希望者対象のツアー

#### ・オーストラリアセミナー

中 3 から高 2 を対象として、夏休みに実施しています。オーストラリアの姉妹校 IGGS で約 1 週間の英語研修とホームステイを行うセミナーです。費用は約 74 万円です。

#### ・アジア研修ツアー

中 2 から高 2 を対象として、春休みに実施します。ベトナムまたはマレーシアを約 1 週間訪れ、現地の人々と交流します。費用は約 33 万円です。2025 年度はベトナム、2024 年度はマレーシアと 1 年おきに 2 つの国を訪問します。

## 1 年留学の制度（高校生のみ対象）

本校では、10 か月以上 12 か月以内の期間、高校生が海外の高校（正規の後期中等教育機関）に在籍し、学習を希望する場合は、1 年間の留学を許可する制度があります。1 年留学には、**帰国後に留学出発時の同級生の学年に復帰する「特認」扱いの留学と、帰国後に 1 学年下の学年に所属する「休学」扱いの留学**の 2 種類があります。また、留学先は基本的には英語圏にある本校姉妹校となりますが、本人、ご家庭の責任のもとに選択された、外部団体の斡旋による留学先、または全て個人の手続きによる留学先への留学も可能です。

**姉妹校への留学を希望する場合や、外部団体または個人による留学で特認留学を希望する場合は、外部英語試験のスコア提出と、秋に本校の定める留学テストに合格する必要があります。**

### ■「特認」扱いの留学と「休学」扱いの留学

#### (1) 「特認」扱いの留学

海外での留学終了後、本校に戻ってからは、次の学年に在籍し、3 年間の高校生活が吉祥で 2 年、海外で 1 年という形になります。留学中の単位を 30 ～ 34 単位まで本校の単位として認定します。

## (2) 「休学」扱いの留学

海外での在籍期間を本校では休学扱いとし、海外の留学終了後は、留学出発時の学年への在籍となります。吉祥で3年間フルに高校生活を送りたいと考える場合は、この形となります。留学中の単位は本校の単位として認定されません。

## ■ 留学に際しての注意

留学中は各学校の正規授業を受けます。英語力に応じて、英語を第一言語としない生徒が受講する英語の授業 (ESL、ELL 等) を追加受講する場合があります。姉妹校留学中の滞在は全て寮となります。ただし、長期休暇期間はその限りではありません。なお、外部団体による公立高校への留学は、団体により異なりますが、学費は無料・滞在はホームステイで費用は安く抑えられるというメリットがあります。

## 1 年留学の留学先 (姉妹校・パートナーズクール) 紹介

※学納金は 2025 年度の情報です。※留学期間は、実際の出発日・帰国日ではありません。

## ■ Queen Margaret's School (QMS)

カナダ、ブリティッシュ・コロンビア州ダンカン市にある私立共学校。留学期間は 9 月 1 日～翌年 7 月 20 日 (吉祥の 2 学期から翌年度 1 学期)。

1 年間の学費・寮費・食費・諸費用等は 72,000CAD (約 780 万円)。2025 年度は高 1 生が 1 名留学しました。コンピュータでオンライン英語テスト・事前研修があります。

## ■ St. Margaret's School (SMS)

1908 年創立。カナダ、ブリティッシュ・コロンビア州ビクトリア市にある名門女子校です。幼稚園から高校まであり、カナダ、ブリティッシュ・コロンビア州で初めて STEM 教育 (理数科目に力を入れたプログラム) を取り入れた女子校です。芸術も大切に、多様性を大切にしている学校です。吉祥とは 2024 年に姉妹校となり、高 1 の希望者がカナダ語学体験ツアーで訪問・交流します。2025 年度は高 1 生が 1 名留学しました。

## ■ Ipswich Girls' Grammar School (IGGS)

オーストラリア、クィーンズランド州イプスウィッチ市にある私立学校。留学期間は 1 月 1 日～同年 12 月 20 日 (吉祥の 3 学期から翌年度 2 学期)。吉祥からは 2015 年度より、夏休み中にオーストラリアセミナーとして実施している、短期語学研修の研修先でもあります。吉祥の創立 80 周年を記念して、2018 年に姉妹校となりました。1 年間の学費・寮費・食費・諸費用等は、75,000AUD (約 825 万円)。2026 年度は高 1 生が 1 名留学中です。

## ■ Miss Porter's School (Porter's)

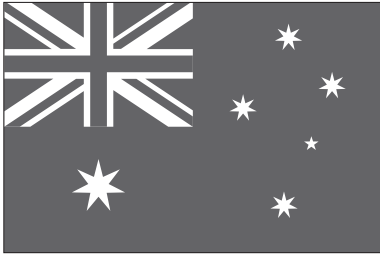
アメリカ合衆国、コネチカット州ファーミントン市にある私立女子校。留学期間は 7 月 5 日～翌年 6 月 10 日 (吉祥の 1 学期途中から翌年度の 1 学期途中)。2019 年 9 月より吉祥からの一年留学生最大 2 名までの受け入れを開始しました。1 年間の学費・寮費・食費・諸経費などは 79,000USD (約 1264 万円)。選抜方法は 2 段階で、本校留学テストの他、オンラインの英語面接、コンピュータ上で時間制限のある英作文のテストがあります。2025 年度は高 1 生が 2 名留学しました。

## ■ St. Mary's School (Mary's)

1842 年創立。ノースカロライナ州の州都ローリー市にある歴史と伝統があるキリスト教の私立女子校です。4 年制大学への進学率が 100%、うち名門大学への進学が大半を占める名門進学校です。ローリー市はアメリカで人気の住みやすい都市トップ 10 以内に毎年選ばれています。女性リーダーの育成に力を入れています。卒業生は、政治家・大学教授・会社社長・俳優・作家など幅広く活躍しています。吉祥とは 2024 年に姉妹校となりました。2026 年度は高 1 生 1 名が留学中です。

## 姉妹校・友好校（それぞれの学校の場所は次頁の地図参照）

## オーストラリア



## Ipswich Girls' Grammar School (IGGS)

1891年創立。クイーンズランド州にある私立学校です。幼稚園から高校までの一貫教育を行っています（小学生まで男女共学で以後女子校）。2015年度より夏の語学研修を開始しました。ホームステイをしながら、研修中は英語や現地生徒たちと同じ授業に参加します。

2018年に本校と姉妹校となり、2020年1月より1年留学が可能になりました。IGGSからの短期留学生の受け入れもしています。



IGGSの授業

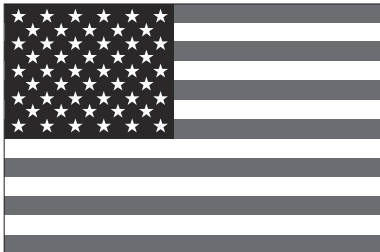


IGGSの校舎

## New England Girls' School (NEGS)

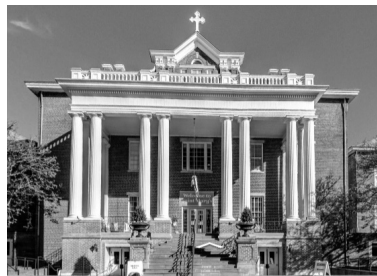
1895年創立。ニューサウス・ウェールズ州アーミデールにある私立女子校です。英国国教会の伝統を受け継ぎながらも、コンピューターコースなどの新しい分野での教育にも力を入れています。本校とは1981年以来姉妹校関係にあります。

## アメリカ合衆国



## Miss Porter's School (Porter's)

1843年創立。コネチカット州ボストン近郊にある私立女子校です。Jacqueline Kennedy Onassis（ケネディ元大統領夫人）や、Alice Hamilton（女性初のハーバード大学教員）など、各界に女性リーダーを送り出している名門校です。2016年度よりパートナーズクールとして交流を持ち、2019年9月より1年留学が可能になりました。

Miss Porter's School  
授業の様子St. Mary's School  
校舎

## St. Mary's School (Mary's)

1842年創立。ノースカロライナ州の州都ローリー市にある歴史と伝統があるキリスト教の私立女子校です。4年制大学への進学率が100%、うち名門大学への進学が大半を占める名門進学校です。ローリー市はアメリカで人気の住みやすい都市トップ10以内に毎年選ばれています。女性リーダーの育成に力を入れています。卒業生は、政治家・大学教授・会社社長・俳優・作家など幅広く活躍しています。吉祥とは2024年に姉妹校となり、2025年9月より一年留学が可能となりました。

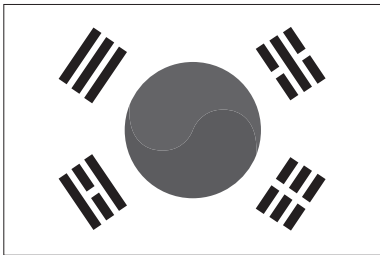
ベトナム



Le Quy Don High School

1986年創立の約1,000人の生徒が学ぶ国立の進学校。理系科目・社会科学・人文科学で専門的な教育プログラムを実施しています。外国語は英語・フランス語・日本語の授業が設置されており、約50名の生徒が日本語を学んでいます。アジア研修ツアーでベトナム訪問時に日本語と英語で交流します。

韓国



ソウル藝術高等学校

Seoul Arts High School

1953年創立。本校とは1986年以来友好校関係にあります。1990年代に韓国研修ツアーや訪日の際に交流を深めました。

中国



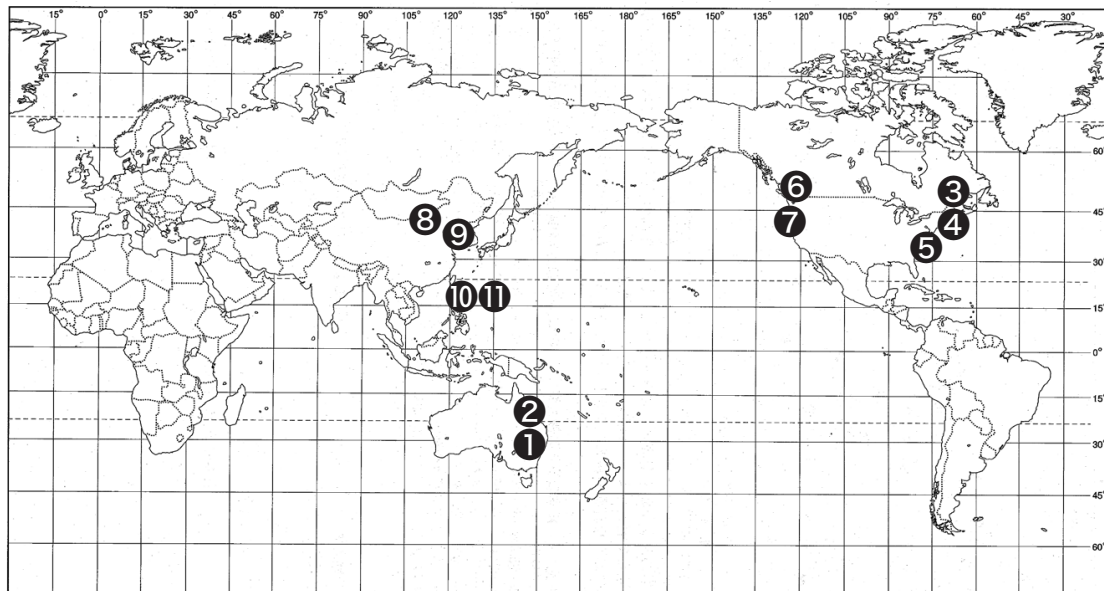
北京師範大学附属実験中学

The Experimental High School Attached To Beijing Normal University

1917年創立。「治学厳謹・校風淳朴」(学問追求への厳しさと素朴な校風)で有名な学校です。

本校とは1987年以来友好校関係にあります。春休みに中国研修ツアーとして高校生が訪問し、交流を行ってきました。

本校の姉妹校・パートナーズクール・友好校



- |  |           |                          |        |
|--|-----------|--------------------------|--------|
| ① New England Girls' School (NEGS)     | —オーストラリア— | ⑧ 北京師範大学附属実験中学           | —中国—   |
| ② Ipswich Girls' Grammar School (IGGS) | —オーストラリア— | ⑨ ソウル藝術高等学校              | —韓国—   |
| ③ Walnut Hill School (WHS)             | —アメリカ—    | ⑩ Junko School 小学校       | —ベトナム— |
| ④ Miss Porter's School (Porter's)      | —アメリカ—    | ⑪ Le Quy Don High School | —ベトナム— |
| ⑤ St. Mary's School (Mary's)           | —アメリカ—    |                          |        |
| ⑥ Queen Margaret's School (QMS)        | —カナダ—     |                          |        |
| ⑦ St. Margaret's School (SMS)          | —カナダ—     |                          |        |

# I 15 キャンパス内の大理石像とモットー

本校には5体の大理石像があります。

**① エベ**

“青春の美”  
1・2号館エントランスホール  
※修復中、場所移転の可能性がります



**② ヴィーナス**

5号館2階

**③ プロヒューモ**

“香り”  
6号館ホール

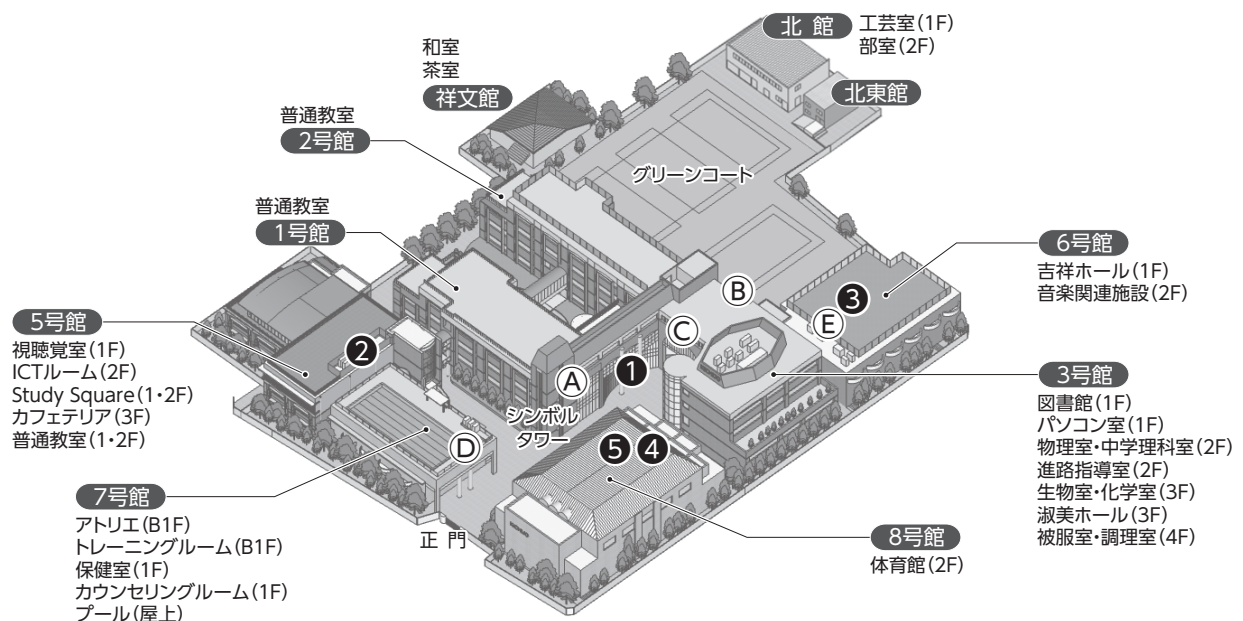


**④ スコシオ**

“躍動”  
8号館1階図書館側

**⑤ リズヴェーリエ**

“目覚め”  
8号館ラウンジ



本校の建物には、次のような motto がラテン語で刻まれています。

**A** VERITAS

“真理”  
1号館シンボルタワー



**D** INGENIUM VERTRUM EXCOLITE

“個性を十分に伸ばしましょう”  
7号館玄関



**B** OFFICIVM PRAESTA · MCMXXX VIII

“己の責任を果たせ・1938年（創立年）”  
3号館北面

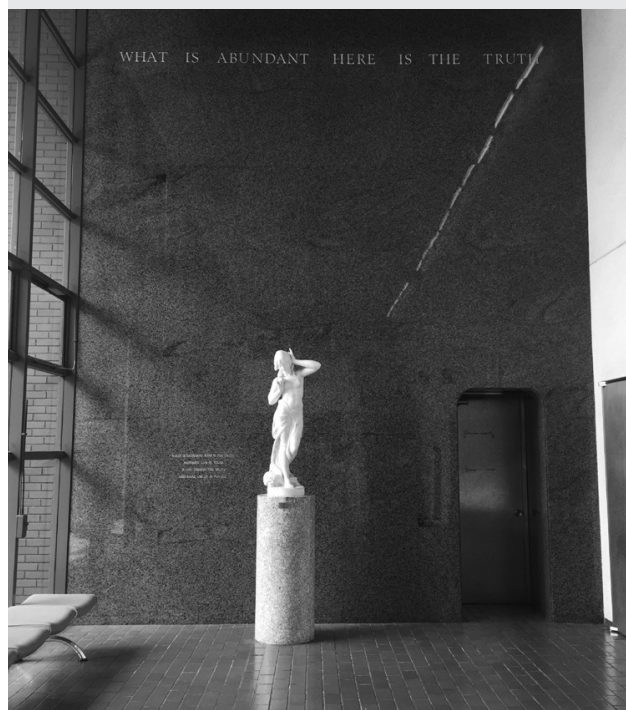


**C** SEVERVS TIBI ALIIS FACILIS ESTO · MM III

“己に厳しく他に優しく・2003年（65周年）”  
3号館南面

**E** WHAT IS ABUNDANT HERE IS THE TRUTH HAPPINESS CAN BE YOURS IF YOU CHERISH THE TRUTH AND MAKE USE OF IT FOR ALL

この場所には真実が溢れている。それを大切にし、人のために生かせばあなたは幸せとなる”  
6号館ロビー



# I 16 2026 年度学納金

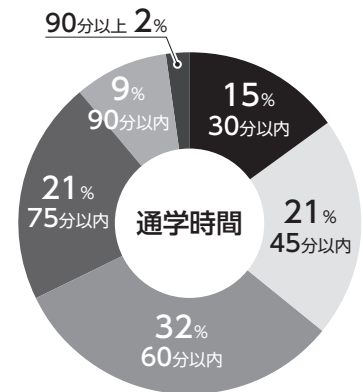
入学手続納入金 ①	入 学 金 施設拡充費	250,000 円 30,000 円
	小 計	280,000 円
学費 [年額] ②	授 業 料 施設維持費 諸 経 費	556,200 円 254,400 円 22,800 円
	小 計	833,400 円
合 計		1,113,400 円

- 1.学費は3期分納とし、ご指定の銀行口座から自動振替となります。
- 2.上記の他に、祥美会（保護者の会）入会金 5,000 円、同年会費 16,800 円、生徒会入会金 4,000 円、同年会費 6,000 円があります。
- 3.教育施設・設備の充実及びその維持のため、入学後、一口5万円、一口以上の寄付（任意）にご協力下さい。
- 4.高校進学時には、中学入学時と同様に入学手続納入金を納めていただきますが、学納金のうち50,000円は免除となります。

# I 17 生徒居住地・通学時間

地 域	人 数
足立区	3
荒川区	11
板橋区	30
江戸川区	9
大田区	11
葛飾区	1
北区	19
江東区	42
品川区	13
渋谷区	21
新宿区	68
杉並区	231
墨田区	11
世田谷区	90
台東区	7
中央区	16
千代田区	12
豊島区	43
中野区	66
練馬区	150
文京区	69
港区	15
目黒区	18
昭島市	4
あきる野市	1
稲城市	6
清瀬市	1
国立市	15

地 域	人 数
小金井市	33
国分寺市	29
小平市	22
狛江市	7
立川市	12
多摩市	3
調布市	23
西東京市	32
八王子市	13
羽村市	2
東久留米市	4
東村山市	17
東大和市	2
日野市	11
府中市	19
町田市	2
三鷹市	55
武蔵野市	75
武蔵村山市	1
朝霞市	5
入間市	1
川口市	6
越谷市	1
さいたま市	13
狭山市	2
志木市	3
所沢市	20
戸田市	5



※2025年7月現在

地 域	人 数
新座市	7
東松山市	1
八潮市	1
和光市	2
吉川市	1
蕨市	1
市川市	8
浦安市	2
船橋市	1
川崎市	10
相模原市	4
横浜市	1
合 計	1440

※2026年3月現在

## I 18 各教科の取り組み

### 基礎学力から大学入試問題を解く力まで

中高6ヶ年を見据えて中高間での重なりをなくし、スムーズかつ着実に学習が進められるようカリキュラム（教育課程）が組まれています。中学では学力の基礎となる国語、社会（地理歴史・公民）、数学、理科、英語には特に多くの時間を配当し、中学3年次の後半からはほとんどが高校の内容に入っていきます。

### 国語

私たちは、「日本語」を通して他者とのコミュニケーションを図っています。「国語」という教科では、この「日本語」で書かれた文章を読み味わいながら、語句の意味を的確に理解し、適切に表現する能力を身につけることを第一の目標としています。「国語力」は、全教科の根幹となります。中1から高1までの4年間に、教科書のみならずさまざまな作品に触れることによって、より深い読解力、思考力、表現力を身につけていきます。「国語」は、近代以降に書かれた文章を読む「現代文」と先人の残した文学の集積を学ぶ「古典」に分かれます。

「現代文」については、検定教科書の他に本校オリジナルテキストの『吉祥読本』やプリント教材を使用します。また、中3からは高等学校の検定教科書を用います。難度の高い優れた文章を読むことで、読解力や思考力をさらに伸ばせるようにしています。また、一方的に教わるだけでなく自ら探究する姿勢を身につけるために、図書館での資料収集やグループ学習の機会を設け、読書も奨励しています。

「古典」については、中1から百人一首をはじめ「古文」、「漢文」を積極的に取り入れ、音読を重視しながら現代につながる日本文化の礎を自然に感じることができるよう配慮しています。中1では『吉祥読本』、中2以降は『ニューエイジ古典基礎1』を副教材として使い、現在まで価値が認められてきた優れた文章を読むことで、読解力や思考力をさらに伸ばせるようにしています。「現代文」の授業同様、中3からは高等学校の検定教科書を用います。

高1では、将来いずれの方面に進むにしても必要な内容を総合的に学びます。高2からは、それぞれの進路に応じた授業を展開します。高3では、問題演習を多く取り入れ、大学入試に対応できる力を養います。また、新聞記事や各種評論文にも目を向けて幅広く知識を蓄え、小論文にも対応できる力を身につけられるよう工夫をしています。

#### 使用教科書

**中1～中3** 『国語』（光村図書）  
『現代の書写』（三省堂）

#### 使用副教材

**中1** 『問題中心の新文法ノート』（浜島書店）  
『原色小倉百人一首』（文英堂）

**中1～中3** 『吉祥読本』（吉祥女子中学・高等学校） 『国語活用資料集』（新学社）  
『書いてマスター常用漢字』（文英堂）

**中2～中3** 『解析古典文法』（桐原書店）  
『古典文法クリアノート』（尚文出版）  
『ニューエイジ古典基礎1』（第一学習社）

**中3** 『必携 新明説漢文』（尚文出版）  
『現代の国語』『言語文化』（筑摩書房）

## ■ 中学 1 年から高校 1 年までの授業内容

## 国 語

	現代文 3 時間	古 典 2 時間
中学 1 年	多くの作品を読み、読解力や表現力を養う。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 詩、随筆、説明文、小説（ヘルマン・ヘッセ、芥川龍之介、志賀直哉、山本周五郎など）を読む。</li> <li>■ 漢字テストを実施し、基本的な常用漢字を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 百人一首や「竹取物語」「宇治拾遺物語」、故事成語などを学習する。</li> <li>■ 和歌の技巧や初歩的な文語文法を学ぶ。</li> <li>■ 漢文訓読の基礎を知る。</li> <li>■ 口語文法を学ぶ。</li> </ul>
中学 2 年	現代文 3 時間	古 典 3 時間
	作品を多様な視点から読み、読解力や思考力を深める。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 太宰治、井伏鱒二、葉山嘉樹、芦原義信などの著作を読む。</li> <li>■ 漢字テストを実施し、徐々に難度の高い常用漢字を身につけ、語彙を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「平家物語」「徒然草」「枕草子」「漢詩」などを学習する。</li> <li>■ 文語文法（用言の活用）を学ぶ。</li> <li>■ 漢文訓読について学ぶ。</li> </ul>
中学 3 年	現代文 2 時間	古 典 3 時間
	高校の学習に向けたより高度な内容を学習し、論理的思考力を育み、表現力を養う。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 井上ひさし、魯迅、森鷗外、鷲田清一、岩井克人などの著作を読む。</li> <li>■ 漢字テストを実施し、常用漢字を確実に身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「十訓抄」「おくのほそ道」「伊勢物語」「土佐日記」「論語」「史記」などを学習する。</li> <li>■ 文語文法（助動詞）を学ぶ。</li> <li>■ 漢文訓読に習熟する。</li> </ul>
高校 1 年	現代の国語 2 時間	言語文化 2 時間
	より難度の高い内容を学習し、読解力、思考力、表現力を高める。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 実社会における国語の諸活動に必要な資質、能力を養うための論理的文章を中心に読み、自己の考えを論述する。</li> <li>■ 漢字テストを実施し、常用漢字を確実に身につけ、語彙を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 古典を主として上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化への理解を深める教材を読む。</li> <li>■ 文語文法（助詞・敬語）を学ぶ。</li> <li>■ 漢文の句法に習熟する。</li> </ul>

## 社 会

社会的な問題意識や理解、歴史的な思考力、資料の分析能力、ディベート・ディスカッションなどによる自己表現力など、単なる暗記ではなく、多岐にわたり生徒の能力を高めることを目標としています。

中1では「歴史」と「地理」、中2では「地理」と「公民」、中3では「歴史」と「公民」を学習します。基礎的なレベルにとどまらず、発展的教材や独自プリントを用いて高校の内容にまで踏み込んだ本格的な学習を進めていきます。

歴史の授業では、日本の歴史だけでなく、世界の歴史についても学習します。各時代ごとに背景に触れながら、単に断片的な知識ではなく、総合的な歴史像をつくりあげることを目指します。また、歴史学習を通じて社会的な視野を広げ、現代社会を柔軟で多様な視点からとらえるようにすることも目標としています。

地理は読んで字のごとく「大地の理（ことわり）」を学ぶ科目です。「なぜ？」という問いを大切に、筋道を立てて考えることが重要です。そのため地理の授業では、地図や統計、写真といった資料を駆使して好奇心を高めつつ、世界や日本のあり方を理解し、視野を広げることを目標としています。

公民を学習する際に最も大切なのが、「自分は社会をつくる主体である」という当事者意識を持つことです。自分は今どのような社会に生きているのか、この社会はどのような問題に直面しているのかを正しく知り、その上で自分はその問題にどう対処すべきなのかを主体的に考え、表現できる力を身につけることを目標としています。具体的には、高校レベルの副教材を併用し、青年期の課題、女性の生き方、現代社会の課題、民主政治と人権思想、日本国憲法などの分野を学び、高校の学習へとつなげていきます。

高校では、社会科は地理歴史科と公民科に分かれます。まず公民科については、高1では中3の公民を引き継ぐ形で「公共」を履修し、政治分野のほか、経済分野や倫理分野についても学びます。このような形で中3から高1の2年間をかけて、重複なく総合的に公民分野を学習していきます。また、地理歴史科では高1で「歴史総合」、高2で「地理総合」を全員が履修し、さまざまな分野の知的蓄積を通じて、現代社会の諸課題を多角的に分析・考察します。その上で、高2・高3ではそれぞれの進路希望に応じて「日本史探究」「世界史探究」などを選択して学習し、総合的な社会観の育成を目指します。その際、大学入試レベルにも十分に対応した高度な水準の授業を展開します。

### 使用教科書

中1・中3 『中学生の歴史』（帝国書院）

中1～中2 『中学生の地理』（帝国書院）

中2～中3 『中学生の公民』（帝国書院）

### 使用副教材

中1・中3 『資料カラー歴史』（浜島書店）

中1～中2 『中学校社会科地図』（帝国書院）

『世界の諸地域 NOW』（帝国書院）

中3 『政治経済資料集』（とうほう）

## ■ 中学 1 年から高校 1 年までの授業内容

## 社会 | 地理歴史・公民

中学 1 年	<b>歴史的分野</b> <span style="float: right;">2 時間</span>	<b>地理的分野</b> <span style="float: right;">2 時間</span>
	<p><b>歴史分野</b>では、日本だけでなく、世界の歴史についても学習する。各時代ごとに、その背景にもふれながら、単に断片的な知識ではなく、総合的な歴史像をつくりあげることを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 古代国家の成立と東アジア（原始・古代） 人類の進化 縄文時代、弥生時代、古墳時代、飛鳥時代、奈良時代、平安時代</li> <li>■ 武家政権の成長と東アジア（中世） 鎌倉時代、室町時代</li> </ul>	<p><b>地理分野</b>では、私たちの生きる現代の世界・日本の様子を、まず地理的思考の基礎となるさまざまなテーマに沿って見渡した後、世界、そして日本の地域ごとに詳しく学んでいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地球と地図</li> <li>■ 世界の自然環境</li> <li>■ 国、人、社会</li> <li>■ 世界の諸地域（東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、西アジア、北アフリカ）</li> </ul>
中学 2 年	<b>地理的分野（1・2学期）</b> <span style="float: right;">3 時間</span>	<b>公民的分野（3学期）</b> <span style="float: right;">3 時間</span>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 世界の諸地域（中南アフリカ、ヨーロッパ、ロシア、北アメリカ、中南アメリカ、オセアニア）</li> <li>■ 日本の自然環境 地形図を読む、日本の位置と領土、地形の特徴、気候の特徴と気候区分、災害とその対処</li> <li>■ 日本の農業 農林水産業、鉱工業、商業と貿易、交通と通信</li> <li>■ 日本の社会 人口問題、都市と農村の諸問題、諸地域の文化や生活、世界とのつながり</li> </ul>	<p><b>公民分野</b>では、自分は今どのような社会に生きているのか、この社会はどのような問題に直面しているのかを正しく知り、その上で自分はその問題にどう対処すべきなのかを主体的に考え、表現できる力を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 青年期を生きる 青年期の課題、社会に参加する、女性として生きる</li> <li>■ 現代社会の諸課題を知る 科学技術の発達と生命、少子高齢化と社会保障</li> </ul>
中学 3 年	<b>歴史的分野</b> <span style="float: right;">2 時間</span>	<b>公民的分野</b> <span style="float: right;">2 時間</span>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 武家政権の成長と東アジア（中世） 戦国時代</li> <li>■ 世界各地の文明と宗教、ルネサンス、大航海時代、宗教改革</li> <li>■ 武家政権の展開と世界の動き（近世） 織豊政権期、江戸時代前期、江戸時代中・後期</li> <li>■ 産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 政治について考える 政治とは何か、近代立憲主義の広がり、日本国憲法の成立と特徴、基本的人権の尊重、平和主義と安全保障、日本の政治機構</li> </ul>
高校 1 年	<b>歴史総合</b> <span style="float: right;">2 時間</span>	<b>公共</b> <span style="float: right;">2 時間</span>
	<p><b>歴史総合</b>は世界とそこにおける日本を広く総合的な視野から捉え、近現代の歴史を理解・考察する。歴史の大きな変化に着目し、問いを設け、資料を活用しながら歴史の学び方を学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国民国家の形成と発展</li> <li>■ 近代化と現代的な諸課題</li> <li>■ 国際秩序の変化や大衆化</li> <li>■ グローバル化</li> </ul>	<p>社会に参画する際に選択・判断するための手掛かりとなる概念や、理論・公共的な空間における基本的原理を習得する。「人間と社会の在り方についての見方・考え方」を働かせ、考察、構想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 主権者である国民の意思を政治に反映させるしくみ</li> <li>■ 経済原理と日本経済の諸課題</li> <li>■ 公共的な存在としての人間の生き方</li> <li>■ 国際政治・経済のしくみ</li> </ul>

## 数 学

柔軟な思考力と物事を多角的に捉える力を養うことを重視し、授業を展開しています。そのために、基本的な知識や計算力の徹底を図り、グラフを用いた図式化や記号化などの方法で条件を整理して問題を解く演習を、多く取り入れています。

中学では、『体系数学』という中高一貫用の教材を使用しながら、授業を進めていきます。このテキストは検定教科書とは単元の配列が異なります。例えば、検定教科書では中1と中2に分けて学習することになっている「文字と式の計算」や「1次方程式・連立方程式」をまとめて学習できるようになっています。このように、先の学習につながる上級学年の内容を積極的に取り入れる中で、重要事項に繰り返し触れ、知識が層をなして積み上がるように工夫しています。

家庭学習用には、『体系数学』に準拠した『PYXIS』という問題集を用意しています。そのため、上記のような順序で授業が進んでも、生徒達は授業内容を家でしっかりと復習することが可能となっています。

中2の3学期には中学の学習内容はすべて終了し、高校の内容に進みます。「どのように問題にアプローチすればよいか」、「どのような解答を書けば読み手に伝わるか」などを、より意識しながら時間をかけて解くことが必要になります。そのため、中2の後半からは『Focus Gold』という参考書も用いて学習を進めていきます。そして中学卒業までには、高1の学習内容がほぼすべて終了します。

高校では、中学で学んだ基礎事項を基盤として、総合力を身につけることを目標としています。文系では高1修了時、理系では高2修了時までには高校の教科書の内容をほぼ終了します。その後は、進路達成に向けた演習を行い、難関校の入試にも対応できる力をつけていきます。また、高2・高3では進路目標別・習熟度別の少人数の授業を実施しています。

### 使用教科書

中1～中2	『体系数学 1 代数編』 (数研出版)
	『体系数学 1 幾何編』 (数研出版)
	『体系数学 2 代数編』 (数研出版)
	『体系数学 2 幾何編』 (数研出版)
	『数学 I』 (数研出版)
中3	『数学 I』 (数研出版)
	『数学 A』 (数研出版)
	『数学 II』 (数研出版)
	『数学 B』 (数研出版)

### 使用副教材

中1～中2	『PYXIS (代数編 I)』 (育伸社)
	『PYXIS (幾何編 I)』 (育伸社)
	『PYXIS (代数編 II)』 (育伸社)
	『PYXIS (幾何編 II)』 (育伸社)
	『クリアー数学 I + A』 (数研出版)
	『Focus Gold I + A』 (啓林館)
中3	『クリアー数学 I + A』 (数研出版)
	『クリアー数学 II + B』 (数研出版)
	『Focus Gold I + A』 (啓林館)
	『Focus Gold II』 (啓林館)
	『Focus Gold B + C』 (啓林館)

## ■ 中学 1 年から高校 1 年までの授業内容

## 数 学

数 学		4 時間	
代 数	幾 何		
中学 1 年	計算演習を繰り返し行なうことによって、文字式の扱いに慣れ、演算を速く正確に行うことができるようにする。	図形の基本的な性質を学習したのち、「証明」を通して論理的な思考の大切さを理解する。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 正負の数</li> <li>■ 式の計算</li> <li>■ 1 元 1 次方程式・連立方程式</li> <li>■ 1 元 1 次不等式・連立不等式</li> <li>■ 比例と反比例</li> <li>■ 1 次関数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 平面図形の基礎</li> <li>■ 空間図形</li> <li>■ 図形と合同</li> <li>■ 三角形と四角形</li> </ul>	
代 数	3 時間	幾 何	3 時間
中学 2 年	複雑な文字式を自由に扱うことができるようにし、それらを様々な問題に応用する力を養う。	自明ではないことがらを、論理の積み重ねによって証明する力を養い、図形の諸性質を応用する力を育てる。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 多項式の展開・因数分解</li> <li>■ 平方根</li> <li>■ 2 次方程式</li> <li>■ 2 乗に比例する関数</li> <li>■ 2 次関数（高校数 I の内容）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 図形と相似</li> <li>■ 線分比・面積比</li> <li>■ 円</li> <li>■ 三平方の定理</li> <li>■ データの分析（高校数 I の内容）</li> </ul>	
数学 I	3 時間	数学 A	3 時間
中学 3 年	さまざまなことがらを体系的に理解し、初見の問題でも自力で解決する力を養う。1 年を通して高校の教科書の内容を扱う。	さまざまなことがらを体系的に理解し、初見の問題でも自力で解決する力を養う。1 年を通して高校の教科書の内容を扱う。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 集合と命題（高校数 I の内容）</li> <li>■ 三角比（高校数 I の内容）</li> <li>■ 指数関数と対数関数（数 II の内容）</li> <li>■ 図形と方程式（高校数 II の内容）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 場合の数と確率（高校数 A の内容）</li> <li>■ 式と証明（高校数 II の内容）</li> <li>■ 複素数と方程式（高校数 II の内容）</li> <li>■ 数列（高校数 B の内容）</li> </ul>	
数学 I	3 時間	数学 A	2 時間
高校 1 年	学んだことがらがどのように利用できるかを考え、より複雑な問題を解決する力を養う。	学んだことがらがどのように利用できるかを考え、より複雑な問題を解決する力を養う。	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 図形と方程式（数 II の内容）</li> <li>■ 三角関数（数 II の内容）</li> <li>■ 微分法と積分法（数 II の内容）</li> <li>■ 数学と人間の活動（数 A の内容）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 数列（数 B の内容）</li> <li>■ 平面ベクトル（数 C の内容）</li> <li>■ 空間ベクトル（数 C の内容）</li> </ul>	

## 理 科

身近な自然現象に興味を持ち、知識・観察力を活用して、ものごとを科学的に思考できる人間の育成を目指しています。そのため中学から実験・実習を数多く取り入れ、「実体験」から得る情報をもとに思考を発展させ、「得られた結果から科学的に優れた考察を展開できる能力」が身につくよう指導しています。また、実験後のレポート作成を通して、主体的に考察する力を身につけていきます。さらに、進歩の著しい自然科学の分野で重要かつ基礎的な知識を、より効率的に深く学習するため、中学・高校の内容を整理・統合し、中学では必要に応じて高校の内容を取り入れ、中3では高校教科書「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」の内容を扱います。高1までに理科の基本を一通り学習した後、高2以降は各自の進路目標の達成に向けてより発展的な学習につなげていきます。実験の内容もより専門的になり、大学入試問題を解く力に加え自然科学を探究する姿勢を養っていきます。

**使用教科書**

**中1～中3** 『未来へひろがるサイエンス 1～3』(啓林館)

**中3・高1** 『物理基礎』(数研出版) 『化学基礎』(啓林館) 『生物基礎』(東京書籍)

**使用副教材**

**中1～中2** 『中学の理科 第1分野 物理・化学』(教育開発出版社)  
『中学の理科 第2分野 生物・地学』(教育開発出版社)  
『グラフィック理科資料集』(新学社)

**中3・高1** 『ニューステージ新生物図表』(浜島書店)  
『リードα生物基礎』(数研出版)  
『物理基礎独自作成テキスト』  
『標準セミナー化学基礎』(第一学習社)

## 中学1年生理科実験項目リスト

中学1年では、年間で次のような実験を行っています。1学期は2時間連続の授業中に行っていますので、1回の実験で教科書の2回分の内容を含むものもあります。また、必要に応じて演示実験を行っています。(カリキュラムは変更の可能性がありますが)

1分野	1学期	①密度の測定・測定器具の使い方 ③ナフタレンの温度変化	②二酸化炭素・酸素の性質 ④いろいろな物質の性質を調べる
	2学期	⑤スチールウールの燃焼 ⑦鉄と硫黄の化合 ⑨水の電気分解 ⑪定比例の法則	⑥物質の燃焼 ⑧炭酸水素ナトリウムの熱分解 ⑩質量保存の法則
	3学期	⑫水圧	
2分野	1学期	①双眼実体顕微鏡の使用法 ③果実の観察(イチゴ、エンドウ)	②花のつくりの観察(ナデシコ) ④光学顕微鏡の使用法
	2学期	⑤震央の位置と震源の深さの作図 ⑦火山灰・火成岩の観察	⑥等高線と山の形 ⑧火成岩薄片標本の顕微鏡観察
	3学期	⑨光の反射と屈折 ⑪イカの解剖	⑩凸レンズによる像のでき方 ⑫オシロスコープによる音の波形の観察

## ■ 中学1年から高校1年までの授業内容

## 理 科

		1分野	2時間	2分野	2時間		
中学1年		<b>化学分野・物理分野</b> の基本的な内容を学習する。ガスバーナーや各種実験器具の使い方など実験の基本操作を習得すると共に、実験レポート・グラフ・表の書き方などの基礎力を養成する。		<b>生物分野・地学分野・物理分野</b> の基本的な内容を学習する。顕微鏡の取り扱い方や観察スケッチを通じて、実験操作と実験レポート作成の基礎力を養成する。			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 物質の調べ方・分類</li> <li>■ 物質の状態変化</li> <li>■ 化学変化</li> <li>■ 原子・分子</li> <li>■ 力のつりあい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 気体の性質</li> <li>■ 水溶液の性質</li> <li>■ 化学の諸法則</li> <li>■ いろいろな力</li> <li>■ 水 圧</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 植物の特徴と分類</li> <li>■ 火山</li> <li>■ 地層と岩石</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 動物の特徴と分類</li> <li>■ 地震</li> <li>■ 音と光</li> </ul>		
中学2年		<b>化学分野・物理分野</b> ともに、基本的な内容を学習しつつ、実社会と科学との関連性をふまえて発展的に学習する。実験では、結果を基にした考察を展開する能力を育成する。		<b>生物分野・地学分野</b> を学習する。温帯低気圧のモデルの作成、天体のモデル実験や生物の器官観察やはたらきのレポートを通じて、実験操作の能力を高めるとともにより深い思考力を養成する。			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 電気分解</li> <li>■ 酸とアルカリ</li> <li>■ 電流と磁界</li> <li>■ 科学と人間生活</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 原子・分子・イオン</li> <li>■ 化学式と化学反応式</li> <li>■ 電流の性質</li> <li>■ 仕事とエネルギー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 天気とその変化</li> <li>■ 天気図</li> <li>■ 太陽系と宇宙</li> <li>■ 植物のからだのつくりとはたらき</li> <li>■ 動物の行動のしくみ</li> <li>■ 動物のからだのつくりとはたらき</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 水蒸気の変化と雲</li> <li>■ 地球・月</li> </ul>		
中学3年		<b>化学分野</b> では中2で学習した基本事項を復習しつつ、 <b>高校「化学基礎」</b> の内容を本格的に学習する。 <b>物理分野</b> では <b>高校「物理基礎」</b> の内容を取り入れながら力学分野について基本的な考え方を身につけ、それを応用する能力を育成する。		<b>生物基礎</b> の内容を学習する。生物の基本単位である細胞の構造や遺伝子、遺伝のしくみ、生物の体内環境の維持について学ぶとともに、詳細なレポートを作成し、実験結果を基にした考察を展開する能力を高める。			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 物質の分類・元素</li> <li>■ 物質の構成</li> <li>■ 力のつりあい(1次元・2次元)</li> <li>■ 運動の法則</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 物質の三態</li> <li>■ 物質と化学結合</li> <li>■ 力の合成と分解</li> <li>■ 運動方程式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生物の多様性と細胞</li> <li>■ 生命活動とエネルギー</li> <li>■ 遺伝の規則性</li> <li>■ 遺伝子とその働き</li> </ul>			
高校1年		<b>物理基礎</b>	2時間	<b>化学基礎</b>	2時間	<b>生物基礎</b>	2時間
		エネルギーの概念を身につけ、計算を行えるようにする。また、波動や熱について現象の本質を理解し、計算を行えるようにする。	物質質量 (mol) の考え方を導入し、化学変化の量的関係について理解を深める。また、酸・塩基の定義、pH や中和反応の量的関係、酸化還元反応について学習する。	生物の体内環境の維持について、観察などを通して探求すると共に、そのしくみについて理解する。また、生物の多様性と生態系について理解し、その保全の重要性を学ぶ。			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 運動の法則・運動方程式</li> <li>■ 仕事とエネルギー</li> <li>■ 力学的エネルギーの保存</li> <li>■ 波動・音波</li> <li>■ 熱とエネルギー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 物質質量と化学変化の量的関係</li> <li>■ 酸と塩基</li> <li>■ 酸化還元反応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生物の体内環境の維持</li> <li>■ 生物の多様性と生態系</li> </ul>				

## 英 語

語彙や文法の確かな知識を身につけることを重視するとともに、英語学習を通じてコミュニケーション能力を育みます。中学では日常的な事柄について英語で理解・表現できる力の基礎を築き、高校ではその基礎力を発展させて大学入試に十分対応できる高度な学力を身につけると同時に、大学入学以降や社会人になっても役に立つ国際コミュニケーション言語としての英語力を養うことを目標に学習します。授業への積極的な参加はもちろんのこと、予習や復習などの自宅学習の取り組みを大切にしています。

中学での英語の授業は「英語」「英会話」の2つの科目で構成されており、「英語」は各学年週5時間、「英会話」は中1・中2が週1時間、中3が週2時間です。

「英語」では中高一貫校用のテキスト『NEW TREASURE』を用いて語彙・文法を学びながら、「聴く・話す・読む・書く」の4技能を総合的に伸ばします。中学の学習内容を中3の2学期に終え、その後は高校1年生用の検定教科書『ELEMENT English Communication I』と『be English Logic and Expression I Smart』を使って高校の内容に進みます。

「英会話」は1クラスを2分割した少人数授業で行い、ネイティブ教員が担当します。テキストで学んだ知識を活用しながら、「聴く・話す」に重点を置いて学びます。英語で表現する力を鍛えるために、自分で考えた内容を「書く」活動も取り入れています。

授業での学習の他、中学ではNHK ラジオ講座を必須とし、毎日英語を聴くことを習慣にします。英語の音声に日々触れることによって、リスニング力や会話力を向上させることができます。多読も奨励しており、1年間に読んだ英語の本のページ数に応じて表彰をする「リーディング・マラソン」という活動を行っています。また、中学各学年で指名制の補習を週1回実施しており、基礎学力の定着をサポートします。

高校では、中学で学んできた文法をさらに体系的・発展的に学び、英語を理解する力、英語で表現する力を伸ばします。英語の知識を発展させるとともに、中学での様々な教科の学習を通じて得た幅広い分野の知識や興味を活かして人文科学・社会科学・自然科学などのより専門的な文章を読み、読解力を養います。高1からは多読・速読に焦点を当てた長文読解、高2からは抽象性・専門性の高い内容の長文読解や大学入学共通テスト演習などを行います。高3では到達度に応じた習熟度別授業を導入し、難関大の入試問題演習などを通して英語力を磨いていきます。高校でも少人数でネイティブ教員が担当する授業を設け、調べた内容や自分の考えを英語で書いたり発表したりする活動を行います。

なお、中学入学後に基礎から学習しますので、入学前に特別な準備は必要ありませんが、小学校での外国語活動や英語の授業で学んだ表現やアルファベットに慣れ親しんでおきましょう。

**使用教科書**      **中1～中3**      『NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage 1・2』（Z会出版）  
『ELEMENT English Communication I』（啓林館）  
『be English Logic and Expression I Smart』（いっずな書店）

**使用副教材**      **中1**      『NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage 1 文法問題集』（Z会出版）ほか  
**中2**      『NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage 2 文法問題集』（Z会出版）ほか  
**中3**      『総合英語 be 3rd Edition English Grammar 46』（いっずな書店）ほか



## ■ 中学 1 年から高校 1 年までの授業内容

## 英 語

	英 語 <span style="float: right;">5 時間</span>	英会話 <span style="float: right;">1 時間</span>
中学 1 年	<b>NEW TREASURE 1 を教科書として使用</b> ■ アルファベット ■ be 動詞・一般動詞の用法（現在形・過去形） ■ 命令文 ■ 疑問詞 ■ 現在進行形 ■ 過去進行形 ■ 未来表現 ■ 助動詞	NEW TREASURE 1 で学んだ文法事項を応用した英会話活動を行いながら、様々な表現を学ぶ。
	<b>NEW TREASURE 1・2 を教科書として使用</b> ■ There is 構文 ■ 接続詞 ■ 比較 ■ 不定詞 ■ 動名詞 ■ 現在完了形 ■ 受動態 ■ 分詞	NEW TREASURE 1・2 で学んだ文法事項を応用した英会話活動を行いながら、様々な表現を学ぶ。
中学 2 年	<b>NEW TREASURE 2、ELEMENT I、be English Logic and Expression I Smart を教科書として使用</b> ■ 関係代名詞 ■ 不定詞の発展用法 ■ 現在完了進行形 ■ 過去完了形 ■ 知覚動詞・使役動詞 ■ 仮定法過去	NEW TREASURE 2、ELEMENT I で学んだ様々な表現を用いて、自分自身のことや、教科書で扱った内容に関する考えなどを表現する力を養う。
	<b>英語コミュニケーション I <span style="float: right;">3 時間</span></b>	<b>論理・表現 I <span style="float: right;">2 時間</span></b>
高校 1 年	<b>ELEMENT I、ELEMENT II を教科書として使用</b> ■ 高校 1 年 英語コミュニケーション I ・ 様々な文法・語法・表現を学びながら読解力を養う。 ・ スピーチの作成・発表やエッセイライティングなどを通じて、書く力と話す力を養う。	<b>be English Logic and Expression I Smart を教科書として使用</b> 文法を体系的に学び、表現活動を通じて知識を定着させ表現力を養う。

## 保健体育

保健は中1で「心身の発達と心、性の多様性」について、中3では「ケガや病気の予防と精神の健康」について学習します。高1になると本校の保健授業の根幹となる「性とは生である」の理念に基づき、生物学的・科学的・社会的視点から広く知識を習得します。2学期後半からは各自で設定したテーマについての学習を深め、研究発表やディベートなど、生徒主体型の授業となります。体育は、楽しみながら基礎体力や技術を身に付け、他者と協力していく力を養います。バレーボール、ネットボール、マット運動、バドミントン、タグラグビー、フットサル、テニス、卓球、水泳、ダンス、剣道など幅広いスポーツに親しむことができます。

## 音楽

中学1・2年生では、楽譜の正しい読み方や書き方及び発声の基本を学びます。器楽はヴァイオリンを取り入れ、丁寧に指導していきます。鑑賞は、音楽史に沿って名曲を中心に学習します。中学3年生は声楽についてより深く学びます。日本歌曲から始まり、ミュージカルの歌を英語で、そしてイタリア歌曲を原語で歌唱し、専門的な発声法を学びます。高校1年生は声楽の他、器楽ではヴァイオリンに加えてヴィオラやチェロも取り入れ、弦楽合奏や声楽とのアンサンブルに挑戦します。高校2年生では選択授業でオペラ・ミュージカル、ソルフェージュについて専門的に学ぶことができます。

## 美術

中学では絵画・版画・デザイン・工芸（木彫や陶芸）と幅の広い学習をしますが、カリキュラムはほとんど吉祥オリジナルであることに特色があります。また、課外授業（課外中学美術）を受講することで、様々な表現方法について、さらに深く学ぶこともできます。高校では銅版画や石膏デッサンなど専門性に一層踏み込んだ学習をすることで関心や適性を確かめ、類系選択に繋がる内容となっています。高2からの芸術系では、造形力や創造性を培いながら段階的にレベルアップができるよう、絵画とデザインの授業を組み合わせ、発想を表現に結びつけるプロセスを体験的に学んでいくこととなります。

## 技術・家庭／家庭基礎

中学では、衣食住に関して実習を中心に授業内容を定着させ、日常生活で実践できる力を養います。技術分野については、木材加工実習や、パソコンを用いたグラフ作成を通して、実践的に学習します。高校では、中学で学習した内容を発展させ、調理実習した献立の栄養計算をしたり、材料もフェアトレードの商品から購入して社会とのつながりを考えたりします。また、金融商品や経済のしくみについても学びます。これらの学習を通して、実生活に即して考え、理解が深まるような授業展開になっています。

## 情報

情報に関する科学的な見方や考え方を踏まえつつ、社会にある様々な問題を発見し解決するために、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識と技能を身につけていきます。具体的には、情報モラル、情報社会、コミュニケーション、情報デザイン、プログラミング、ネットワーク、データの活用といった内容です。講義のほか実習を重視し、実際に活用する力と情報社会に主体的に対応する力を養います。高校3年次は、大学入学共通テストの受験を想定して、選択科目「情報Ⅰ演習」を履修することができます。

# II

## 2026年度入試問題 問題構成・出題の意図

### II 01 国 語

#### 出題方針および問題構成

国語力には、読解力や思考力、表現力など様々な要素があります。具体的には、筆者の考えや登場人物の心情を正しく理解し、身の回りのことや社会に置き換えて考え、自分なりの意見や感想を持ち、それを相手にしっかり伝わるよう上手に表現する力と言えるでしょう。本校の入試問題は、そうした力をバランスよく見ることが意図しており、問題形式も様々です。言葉や表現の意味及び表現技法、接続詞や指示語、登場人物の心情や内容の理解、また、ちがいや理由の説明、漢字の読み書き等、色々な形式の問題をとり交ぜて出題しています。それらを通じて、文章を論理的に読解する力や登場人物の心情を正しく読み取る力、想像し思考する力、自分の言葉で正確に表現する力、また言葉の知識や漢字の読み書きなど、国語で必要とされる様々な力を幅広く見ています。

本校が例年、国語で出題する文章は、説明的文章が1編と、文学的文章が1編です。また、ここ数年は漢字を独立問題として出題することが多く、合計3題となっています。入試本文については、今の子ども達にぜひ読んでもらいたい、考えてもらいたいと思う読み応えのある文章を選ぶよう心がけています。過去の入試問題などに取り組んだとき、もし興味を持った文章があれば、ぜひその文章の出典となった本を手にとって豊かな読書経験につなげてほしいと願っています。

記述問題については、20～60字程度の短いものが数題と、80～100字程度の長い記述が1題という形を、例年取っています。長い記述問題は、本文の内容を要約するものもあれば、受験生自身の体験を想像も含めて、本文の内容と関わらせて書くものもあります。昨今の大学入試改革の流れを受け、思考力や表現力が今後一層重視されるであろうという観点から、本文を踏まえて現代社会のありようや自分自身のあり方にまで考えを広げる、思考力を問うような記述問題も、ここ数年よく出題しています。

なお、入試本文については**2023年度入試第一回**のように、随筆を出題することもあります。随筆は説明的文章、文学的文章両方の要素があるため、その文章の特徴に応じて出題しています。

#### 文学的文章の出題意図

文学的文章における読解の中心は登場人物の心情の変化にあります。登場人物の内面は、その表情や態度はもちろん、周りの情景描写にも反映されることが少なくありません。また、たとえを用いて心情を語ることもあります。登場人物がその言動に至った理由も読み取りましょう。つまり登場人物の言動や情景描写、それを表す比喩表現など、文中の様々な手がかりをもとに、主人公の心情がなぜ・どのように変化したのか読み解くことが大切です。文学的文章を読むときは、ただストーリーをたどるだけでなく、登場人物の表情や仕草、態度、周囲の情景描写など一つひとつの表現にじっくりと向き合いながら読んでほしいと思います。

登場人物の言動から心情を読み取る例としては、**2026年度入試第一回**の問六や**第二回**の問一、問五、問八など、比喩表現を用いて心情を表す例としては、**2026年度入試第一回**問三、問

五など、また登場人物の言動の理由を読み取る例としては、**2026年度入試第一回**の問四や**第二回**の問五、問六、問七などが挙げられます。

### 説明的文章の出題意図

説明的文章における読解の中心は、文章全体の組み立てに気をつけながら読み、筆者の言いたいことをつかむということです。説明的文章というと難しい印象があるかもしれませんが、筆者の言いたいことは基本的に1つです。その1つのことについて手を変え品を変えて説明していますので、筆者の主張の流れを考えながら読んでいきましょう。説明的文章を読み解く際には、具体と抽象、対比関係、くり返し表現、原因と結果などいくつか意識すべきポイントがあります。それらのポイントに気をつけながら、文章の組み立てを考えていくとよいでしょう。また、文章の要点を把握するためには、語彙力つまり言葉の知識が不可欠であるため、そうした知識があるかどうかを問うようにしています。

具体と抽象を意識して解く問題の例としては、**2026年度入試第二回**の問七、問八、問十や**2025年度入試第一回**の問七や**第二回**の問七など、また、対比的な述べ方の理解を問う例としては、**2025年度入試第一回**の問四や**2023年度入試第一回**の問八、**第二回**の問一、問四など、くり返し表現をヒントに解答する例としては、**2026年度入試第一回**の問四、問十や**第二回**の問七、問九など、原因と結果の関係をヒントに解答する例としては、**2026年度入試第二回**の問三や**2025年度入試第一回**の問十一や**第二回**の問九などが挙げられます。

### 漢字の出題の意図

小学校での学習の範囲から出題しますが、日常会話の中で用いるような言葉だけでなく、様々な文章を読みこなし、考察するための語彙力を持っているかどうか、つまり言葉の知識を問うものであることも、本校の漢字問題の意図するところです。漢字や語句問題なども結局は語彙、つまり言葉の知識と結びついています。目や耳から入ってくる情報で、意味のはっきりしない言葉に出会ったら、あいまいなままにせず、こまめに辞書を引いて調べる習慣をぜひ付けましょう。人は言葉を知ること、より深く正確に自分の心情を理解し、また相手に伝えることができるようになります。言葉を知るとは、自分や社会を知ることにつながるのです。そうした意味で、普段から言葉を意識して生活してほしいと思います。

例えば**2026年度入試第一回**の「若氣」、**第二回**の「政局」、**2025年度入試第一回**の「深窓」などは、小学生の日常会話中にはなかなか出てこないでしょうが、上記の意図の下に出題しています。新聞や幅広いジャンルの本を読むという習慣を、ぜひ大切にしてください。文章の中で自然に身についた語彙力こそが、国語力の基盤となります。

## Ⅱ 02 算 数

### 問題構成

本校の算数では、様々な分野に渡った早く正確な処理能力、柔軟性のある深い思考力をみる出題を心掛けています。それらの力を確認するために、第1回、第2回ともに次のような大問を6題出題します。①は計算問題と1行問題、②～⑥は応用問題です。

配点は計100点満点のうち、①は20点、②～⑥はそれぞれ14～18点程度です。②～⑥は問題の内容により配点を変えます。

①では、計算問題を1題と1行問題を4題出題します。早く正確な計算力と基本的な文章題の処理能力が必要な問題を並べています。これらは受験生の基礎的な学力を確認するための問題です。1行問題は代表的な分野を中心に出题します。各分野の基本問題をまんべんなく理解し、練習して確実に得点できるようにしましょう。

②～⑥は応用問題です。自分で考え、自分で解決する力を持っているかどうかを確認する目的で出題しています。(1)や(2)などの前半の設問は、(3)などの後半の設問を解くための誘導やヒントになっています。前半の一つひとつの設問の意図をしっかりと理解し、後半の設問に利用することができるかどうか大きな鍵となっています。

2026年度入試の各回の②以降の問題の出題分野を以下にあげておきます。

第1回 ② 図形の移動

- ③ 旅人算
- ④ 数の性質
- ⑤ 文字列と規則性
- ⑥ 立体図形

第2回 ② ニュートン算

- ③ 小数と規則性
- ④ 動点と面積比
- ⑤ 集合
- ⑥ さいころの移動

以上のように、応用問題では分野を限定することなく、幅広い分野から出題します。特定の分野に絞って集中的に取り組むのではなく、まずはどの分野もまんべんなく基本的な知識をしっかりと理解しておくことが大切です。

**2～6の出題意図**

本質をきちんと理解しているかを問うために、応用問題では1行問題より難易度が高い問題に、設問を付けて出題しています。内容は定番の問題や、題材が難しいまたは真新しいテーマなどさまざまです。定番の問題についても、後半の設問は設定が複雑な内容であったり、さらに一步進んだ内容に踏み込むなど、その場で柔軟に考える力や論理的思考力をみる問題を出題しています。これは、普段から暗記だけではなく理解を伴った学習ができている人を求めているためです。

前半の設問は問題内容を読み取ることができたかどうかを確認する基本的な問題です。またこれらは、その次の設問を考えるためのヒントや誘導です。後半の設問がなかなか解けない人は、前半の設問の誘導をもう一度読み解いてみましょう。そうすれば正解に近づくことができます。

いずれの問題も解法を覚えているだけでは解くのが難しい問題を出題しています。普段から、解法を覚える学習をするのではなく、その解法の根拠を理解する学習を行うことが最大の対策になります。また、後半の設問を解く時間を確保するためにも、基本的な設問は速く正確に解くことも重要な力であるといえます。

## Ⅱ 03 社会

### 問題構成

本校の社会の入試問題は、基本的知識の確認だけでなく、社会的事象に対する関心の有無、それぞれの事象の相互関連性やその背景について理解する力、基本的知識を使って資料を読み解く力を問うことに重点を置いて出題しています。

各回とも、歴史分野、地理分野、公民分野からそれぞれ1題ずつ、計3題の大問で構成されています。なお、歴史分野・地理分野の大問に比べ、公民分野の大問の配点を少なめに設定しています。以下は、2026年度入試の各回の出題テーマです。

#### 第1回

- ① 地域史をテーマにした歴史分野の問題
- ② 地域の産業をテーマにした地理分野の問題
- ③ 自由貿易をテーマにした公民分野の問題

#### 第2回

- ① 人口をテーマにした歴史分野の問題
- ② 自治体のマークをテーマにした地理分野の問題
- ③ 日本学術会議をテーマにした公民分野の問題

以上のように、各大問はあるテーマに沿って作られています。しかし実際の各設問はそのテーマに限定せず、幅広い分野から出題しています。従って、どこかの分野や範囲に集中的に力を入れて学習するのではなく、まずは基本的知識をしっかりと確認し、全体をまんべんなく学ぶ堅実な勉強を心がけてほしいと思います。設問の数は、例年、各回でそれぞれ38問～40問程度です。問題数が多いので時間配分に注意して解答することも求められます。

設問の形式は、基本的な用語の知識を確認する記述式問題、あるできごとについての正確な理解や詳細な知識を問う正誤判定問題、地図やグラフの読み取りに関する問題、歴史的なできごとを起こった順番に並べかえる問題など多様です。中には問題文中の空欄の穴埋め問題や、下線部に関する設問以外の問いを出す場合もあります。設問の中心は基本的な知識を問うものや、その知識を前提に考えれば解ける問題です。社会科の学習は、用語を覚えればよいというものではありません。しかし、思考する前提として正確な知識は不可欠です。

また、本校では図表の読み取りや歴史上の事象・現代社会の問題の背景にある因果関係などについて、1～2行程度（字数指定の場合もあります）の記述問題を出题しています。こうした問題を出题するのは、普段からその用語の意味や、あるできごとが起きた背景・理由を考えながら学ぶ姿勢を持ってほしいからです。社会の入試問題では、用語を答える単純な記述式問題において、原則として漢字指定や文字数指定、場合によってカタカナ指定などによる解答を求めています。そのため、参考書や教科書に漢字で書かれている用語については、正確な漢字で書けるようにしておく必要があります。解答にあたっては、設問ごとに「何を問われているのか」を正確に把握し、その設問の指示に従って解答するように心がけてください。なお、リード文もよく読み、解答の参考にしてほしいと思っています。

## 歴史分野の出題の意図

本校では、中1と中3の2年間で、日本の歴史を中心に学びます。その前提として、日本の歴史について基本的かつ正確な理解を求めています。

例えば、**2026年度入試第1回**の①問6は、ある戦国大名が関わったできごとを、また**第2回**の①問6は江戸時代のききんとその対策を問うものでした。これらの問いを解くためには、選択肢に示された特定の用語の内容や時期を正確に理解することが求められます。また**第1回**の①問14はグラフの読み取りを行いつつ、該当する時代に何が起こっていたのかを正確に判断できる力を問うものです。学習を進める際には、ただ単に単語を暗記するのではなく、その単語の時代・地域、背景や影響も丁寧に把握していくことが大切です。また、**第1回**の①問5・問11のように、地図の読み取りや地理的な条件をふまえた問いもあります。地名が出てきたときには、その場所を地図帳で確認しながら学習を進めることも、知識を深めるには有効な学習手段です。

また、歴史の学習を進める際におちいりがちなのが、ある特定の時代に関する知識の定着ばかりに集中してしまうことです。しかし、歴史の学習に必要なことは、各時代の全体の特徴をつかんだり、個々の出来事を歴史の中にきちんと位置付けて理解することです。このような学習が日常からできているかを試すために、各回ともに、おおまかな歴史の流れを問う並べかえ形式の問題を必ず出題しています。並べかえというと、「そのできごとが起こった年を暗記して順番にする」ととらえがちですが、歴史上の人物やできごとを、その時期の時代背景の中で大きくとらえて位置付けることこそ大切なのです。**第1回**の①問2は飛鳥時代～平安時代のできごとを並べかえる問題でした。年号を覚えていなくとも、それぞれの文章に登場する人物がどの時代に登場したかを判断できれば、正解にたどりつけます。**第2回**の①問8(1)は明治時代から大正時代の産業に関することですが、まずは製糸業や紡績業の近代化が進められた時期（富岡製糸場の設立）→重工業が勃興した時期（八幡製鉄所の設立）→日本が工業国となった時期というように、時代の流れと工業化の特徴から判断する問いでした。こういった形式の問題に対応できるようにするためにも、歴史の流れと時代の特徴を意識しながら学習していくことが重要です。

## 地理分野の出題意図

地理は、今私たちが生きている世界や日本のあり方を、地図や統計、写真といった資料を駆使して理解し、視野を広げていく科目です。「地理」＝「暗記科目」というイメージが強いかもしれませんが、確かに、地名など覚えなければならないことも多くあります。しかし、それは地理学習のゴールではなく、あくまでスタートであることを忘れてはなりません。「地理」とは読んで字のごとく「大地の理（筋道や理由）」を学ぶ科目です。地理学習の楽しさは、自然（地形や気候など）と人間活動（農業や工業など）の関係や、地域の共通点や相違点を理解することにあります。本校での地理学習においても、このようなつながりを意識して学ぶことを大切にしています。

地理分野の出題においては、日本各地の自然や産業を中心に、グラフや統計の読み取り問題を出題しています。例えば、**2026年度入試第2回**の②問1は、食料品・印刷・窯業・輸送用機械の製造品出荷額について上位5都道府県を表した地図資料から読み取って解く問題です。また、**第2回**の②問12は人口密度・可住地面積割合・昼夜間人口比率の3つの数字から、該当する3つの市を特定できるかを問う問題です。いずれの問題も、まずは統計にしっかりと目を通し、読み取れる情報とその地域の特徴など、これまで習った内容と結びつけて考えることが大切です。**第1回**の②問

6のように地図を使った出題もしていますので、地理を学習するときには、地図帳を手元において場所を確認しながら取り組むようにしましょう。2026年度入試では出題されませんでしたが、地形図から読み取れる情報を元に地域の様子を問う問題も出題されます。**第1回の2問5**のように1960年からの米の需給状況を表したグラフを読み取る問題では、グラフから得られる情報を手がかりに、持っている知識と結びつけてグラフの動きをとらえることが大切です。このようなデータは、私たちの社会の一側面を表現したものです。日常生活の中で自分が体験したり、ニュースで聞いたことを思い浮かべることによって正解にたどり着くことができるでしょう。グラフや統計の読み取りでは、その資料がどのような社会の側面を表しているのか、という点を意識して学習することが重要です。

### 公民分野の出題意図

本校の公民の学習において目指していることは、「自らが社会を作る主体であるという自覚を持つこと」です。本校では、日々生活するなかで、社会のなかにある価値観や規範に無批判に従うような存在としてではなく、今ある価値観や規範の意義を批判的に考察し、より良い社会の実現のために自らの学びを生かすことのできる存在になってほしいと考えています。そのため受験生には、まず現代社会のあり方について基本的なことがらを理解することを求めています。出題する多くの問題は、日本国憲法や基本的人権の内容、国政や地方自治の仕組み、財政や経済の仕組み、国際社会の理解など、さまざまな分野における基本的なことがらを問うものになっています。そして基本的な知識の習得はもちろんですが、単なる暗記ではなく、さまざまな課題に対して自分の持っている知識を活用することが求められています。そのためには、問われているものが何であるのかをしっかりと読み取り、それに対する適切な答えを導き出していく力が必要です。

また、現代社会で起こる変化についても目をむける習慣をつけてほしいと思います。これは社会の制度やその背後にある価値観の変化についての理解を深めることで、社会について主体的に考える力を養うことができるからです。公民分野では時事的な知識を問う問題を必ず出していますが、それは新聞やテレビなどを通してニュースに触れ、社会に対して関心や問題意識を持ってほしいからです。例えば**2026年度入試第1回の3問5エ**はイラン革命、**第2回の3問7A**は生活保護費の基準額引き下げの違法判決、**問9イ**はパレスチナの国家承認といった、ニュースで話題となったことを意識した出題です。ニュースの内容と普段学習している事柄を結びつけると、より理解が深まります。

## Ⅱ 04 理 科

### 問題構成

理科は、身近なものや自然現象に着目し、実験や観察で得られた結果にもとづいて、そのしくみや法則性を明らかにしていく科目です。そこで、本校の理科では、実験実習を通して自然現象への興味・関心を高め、科学的な思考力や表現力を養うことを目標としています。そのため、本校の理科の入試問題では、理科を学んでいく上で必要な次の①～③を確認することを意図しています。

- ① 自然現象への関心と、実験や観察への積極性
- ② 実験や観察の結果を表やグラフにまとめて整理する力と、それを分析する力
- ③ 自然現象を科学的に考える上で必要な知識や、分析する上で必要な計算力

これらを踏まえて、できるだけ身近なものや現象をテーマにして、物理・化学・生物・地学の各分野から大問1題ずつ、計4題を出題しています。例として2026年度入試の各回のテーマと分野を挙げておきます。☆を付した大問は、実験を題材にした問題を含みます。

- 第1回
- ① (化学☆) 中和について
  - ② (地学) 宇宙について
  - ③ (生物☆) 植物細胞について
  - ④ (物理☆) 乾電池について

- 第2回
- ① (生物) 腎臓について
  - ② (地学) 気温と湿度について
  - ③ (化学☆) ものの広がり方について
  - ④ (物理) 輪軸と歯車について

上記のように、実験を題材にして思考力を問う問題を出題しています。また、基本的な知識や計算力を確認する問題に加えて、与えられた情報や条件にもとづいて考える問題も出題しています。なお、思考力を問う問題では、グラフを用いた問題も出題しています。問題を解いて知識や計算力を身につけるだけでなく、身近なものや自然現象に目を向けて、不思議に思ったことについて調べたり考えたりしてほしいと思います。地球環境の持続可能性についても目を向ける習慣をつけてほしいと思います。新聞やテレビなどを通してニュースに触れ、生物と環境の関わり方を自分なりに考えてみましょう。

### 物理分野の出題意図

物理は、現象について分析する際に計算を用いることも多いため、基本的な計算力を問う問題を出題しています。その上で、さまざまな力や電磁気、光、音などに関する実験結果や与えられた条件から規則性や関係性を見出す力を確認する問題を出題しています。例えば、**2026年度入試第1回④の(1), (2), (5), (6)**が挙げられます。理科で学習するさまざまな規則性を暗記するのではなく、グラフの縦軸と横軸の値は何か、一方を変化させることで他方がどのような規則性をもって変化するのかを意識して学習をすすめましょう。

また、見出した法則性を用いると、ある現象が変化して未知の状況になったときにどのような結果になるかを推測することができます。このような考え方をする問題の例として、**2025年度入試第2回④の(6)**が挙げられます。

### 化学分野の出題意図

化学は、物質がもつ性質を調べ、それにもとづいて自然現象のしくみを解き明かしていく分野です。その方法は実験なので、実験を題材にした問題を多く出題しています。したがって、物質の性質についての基本的な知識はもちろん、実験操作についても理解しておくことが重要です。例として、**2025年度入試第1回①の(1)**では実験操作を確認する問題を、**(2)**では物質の性質について確認する問題を、出題しています。

また、化学の知識は私たちの生活のさまざまな場面に用いられています。そのため、身近な現象や物質を題材にするようにしています。例えば、**2025年度入試第1回①**ではサインペンのインクに含まれている色素を題材にしました。身のまわりの便利なものについて、ただ利用するだけでなく、どのようなしくみになっているのか調べたり考えたりしてほしいと思います。

### 生物分野の出題意図

私たち人間はヒトという生物であり、他のさまざまな生物と関わりながら生きています。生物は、ヒトや他の生物が生活しているしくみ、生物どうしの関わりについて調べていく分野です。基本的な知識に観察や実験の結果を合わせて考えていく分野なので、観察や実験を題材にした問題も多く出題しています。

テーマとする生物の種類はさまざまですが、受験生になじみのある生物をテーマにするようにしています。したがって、ヒトをはじめ身近な生物についての基本的な知識を定着させることはもちろん、観察の方法や実験操作についても理解しておくことが重要です。例えば、**2025年度入試第2回①の(4)**が挙げられます。

### 地学分野の出題意図

地学は、地質・気象・天文について、基本的な知識に観察や実験の結果を合わせて考えていく分野です。基本的な知識を定着させることはもちろん、観察の方法や実験操作についても理解しておくことが重要です。観察方法に関連した問題の例として、**2024年度入試第1回②の(6)**、**(7)**が挙げられます。

また、地学分野で着目する現象は、私たちの日常生活に深く関わっています。**2024年度入試第2回①**では、身近な現象について実験を通してしくみを理解する問題を、出題しました。基本的な知識をしっかりと身につけたうえで、実験結果と知識を結びつけ、身近な現象についての理解を深めて欲しいと思います。

# Q&A

## 吉祥の特色と生徒の様子について



**Q 01** 吉祥での6年間を一言で言うとどのようなものですか？

**A** 人生の土台となる10代の大切な時期を、互いに認め合う個性豊かな仲間達と切磋琢磨しながらも、伸びやかに過ごすことができます。誰にでも居場所があり、大きく成長できる6年間であると言えます。

**Q 02** 活発な生徒が多いと聞いています。どちらかというとおとなしい性格ですが大丈夫でしょうか？

**A** いろいろなタイプの生徒が入学しています。本校では自分の個性を発見して、それを磨き学校生活を充実させ、社会に貢献する自立した女性としてよりよい人生を送るための基礎作りをしています。クラスはもちろん、学校行事、委員会・部活動、課外授業などでさまざまな「居場所」を見つけることができ、どんなタイプの生徒ものびのびと学校生活を送っています。

**Q 03** いじめはありますか？

**A** 集団生活の場ですから人間関係のトラブルはあります。多少の摩擦は恐れずに乗り越えて、人間関係を作ることによって、お互いを受け入れることができ、上辺だけではない友情が深まります。生徒同士では解決できない場合には、学級担任をはじめ学年主任、生徒指導担当の教員、カウンセラーなどが一丸となり、ご家庭とも連絡を取り合って指導にあたります。

## 学校生活全般について



**Q 04** 登校時間と下校時間は何時ですか？

**A** 登校時は8:30までに自席に着席していることが必要です。最終下校時刻は中1の1年間は17:00です。中2以降は部活動等で18:00まで残ることができるようになります。

**Q 05** 部活動の参加率はどれくらいですか？

**A** 希望制ですが、ほとんどの生徒が参加しています。中学全体では約68.4%の生徒が運動系に、約56.9%の生徒が文化系に参加し、高校全体では約52.9%の生徒が運動系に、約60.3%の生徒が文化系に参加しています。高3は実質的にはほとんど活動しません。

**Q 06** 部の合宿はどれくらいの回数がありますか？

**A** 委員会や部によって違いますが、特に運動系部活動は長期休暇中に数日間の合宿を行う部が多いです。  
詳細は本校ホームページの「委員会活動・部活動」のページをご覧ください。

**Q 07** 課外授業とはどのような授業ですか？

**A** 放課後、生徒の教養を深め、技能を高めるために開設される講座で、専門の先生方に習うことができます。また、遠距離通学の生徒にとっては、学校で習い事ができる、という利点も大きいようです。週1回のもので、委員会・部活動との両立も可能です。1年ごとの更新制です。2026年度の設置講座はP13をご覧ください。

**Q 08** 携帯電話・スマートフォンを持って行くことはできますか？

**A** 校内への持ち込みは可能です。中学生は校内では使用を禁止していますが、高校生は学校生活に関連する利用目的のもとで、一部の学習活動や放課後の活動で自由に使うことができます。

**Q 09** カフェテリアは誰でも利用できますか？

A

カフェテリアは誰でも利用することができます。お弁当を持たせることのできない日だけカフェテリアを利用する、といった使い方も可能です。定食やカレー麺類などのほかに、惣菜パンや唐揚げ、ポテトなどの販売もありますので、お弁当とあわせて利用している生徒もいます。

**Q 10** 自転車通学はできますか？

A

原則的に本校から直線距離で1～2kmの範囲を基準として、許可制となっています。ただし一定の条件下で2～3kmの範囲で認められる場合があります。

**Q 11** カウンセリングルームはありますか？

A

月～土までカウンセラーが常駐し、予約をすればいつでも気軽に相談できます。保護者もご利用いただけます。

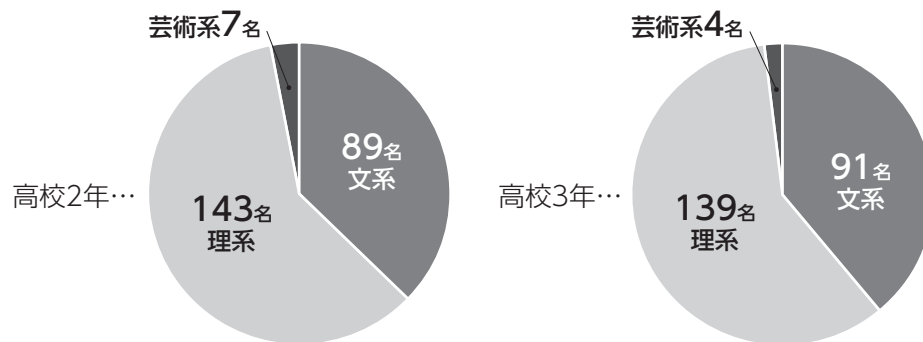
## 学習・授業について



**Q 12** 高2からの文系・理系・芸術系の人数の割合はどれくらいですか？

A

今年度（2026年度）は以下ようになります。希望制で面談等を重ねた上で高1の秋に決定します。



**Q 13** 学習進度はどれくらいですか？

A

英語と数学に関しては、中学3年の途中で高校用の教科書に入り、高校2年生の途中で大学入試に必要な一通りの学習を終えます。高3では約1年間かけて入試問題への対策の時間等に充てられるのが目安となります。

**Q 14** 補習授業はありますか？

A

中学の3年間、数学と英語の補習授業があります。各定期考査の結果を受けての指名制で、各教科週1日放課後に実施します。授業の一環となりますので、部活動等より優先して参加していただけます。

**Q 15** 習熟度別の授業はありますか？

A

数学は高校2年生から、英語は高校3年生から、一部の授業が習熟度別になります。

**Q 16** 夏期講習などはありますか？

A

例年、夏休み期間を6つのチーム（午前・午後）に分けて夏期講習を実施しています。中学1年生～高校3年生までで100以上の講座が開設されます。授業は全て本校教員で行います。強制参加ではなく、あくまで自分で講座やレベルなどを選んで参加する形式になります。受講料は1講座につき3,500～4,200円程度いただいています。

**Q 17** 英語を小学校で十分に習っていないのですが大丈夫ですか？

A

英語をほとんど系統的に学習していないことを前提に授業を展開しますので、心配は不要です。入学後にしっかり授業についていくことを大切にしてください。実際に小学校で英語に最低限しか触れていない生徒でも、上位の成績をとる生徒はいます。

**Q 18** 英検の取得状況を教えてください。

A

英検の受験は強制ではありませんが、英検を中学2年生で3級（中学終了レベル）、高校2年生で2級（高校終了レベル）を全員が取得できることを目標の目安にしています。英語が得意な生徒の中には、準1級にチャレンジする生徒が多数います。また英検1級を取得する生徒もいます。

**Q 19** ネイティブの英語の授業について教えてください。

A

中学生や高校の一部学年ではネイティブの先生の授業があります。クラスを二つに分け、少人数制で行っています。（中学1・2年は週1時間、中3は週2時間あります。）

**Q 20** 生徒は塾や予備校には行っていますか？

A

中学では多くの生徒は行っていません。高校では、特に高2の秋以降、委員会や部を引退してから塾や予備校に通いはじめ、1～2科目の受講をする生徒も一定の割合います。

## 国際理解教育について



**Q 21** 海外研修はありますか？

A

高校1年生の秋に1週間程度、カナダへの研修ツアーがあります。希望制ですが、学年の大部分の生徒が参加しています。

また、夏休みには中3～高2の希望者対象にオーストラリアセミナー、春休みには中2～高2の希望者対象にベトナム・マレーシア（隔年）のアジア研修ツアーがあります。

**Q 22** 留学制度はありますか？

A

高校において1年留学の制度があります。アメリカ、カナダ、オーストラリア等の姉妹校・友好校に加えて、業者を通してそれ以外の高校を留学先にすることもできます。「特認留学」と「休学留学」の2種類があります。詳しくはこの冊子のp.22～p.25をご参照ください。

## 入学試験について



**Q 23** 帰国子女ですが、帰国子女入試や帰国子女枠、英語利用入試はありますか？

A

帰国子女入試や枠、英語利用入試はありません。海外在住経験による入試での加点もありません。

**Q 24** 第1回、第2回の試験の傾向は違いますか？

A

2回とも問題の傾向は同じです。配点、時間も共通となっています。

**Q 25** 1科目でも極端に悪いと不合格になりますか？

A

いわゆる足切りはしていません。合否は総合点で判定します。

**Q 26** 集合時間（午前8時15分）に遅刻した場合はどうなりますか？

A

集合時刻から20分後までの遅刻は認めています。交通機関などをよく調べ、早めの集合を心がけてください。

**Q 27** 繰上合格候補者（＝補欠）の繰上方法と受験者への連絡方法は怎么样了か？

A

繰上合格候補者の発表はありません。ただし、手続き状況により追加合格が出た場合、第1回入試、第2回入試を両方受験いただいた方の中から、対象者に電話でご連絡します。2020年度は0名、2021年度は23名、2022年度は16名、2023年度は9名、2024年度は21名、2025年度は23名、2026年度は45名でした。

**Q 28** 転勤のため、途中で退転学し、後に再転勤により転編入（再入学）することはできますか？

A

中学で退転学し、中学で転編入を希望する場合は、書類審査と面接で判定します。高校で転編入を希望する場合は、書類審査と学科試験、面接で判定します。ただし、転編入は高校1年2学期末までを限度とし、それ以降の転編入は認めていません。

## 入学案内

### 2027年度入試概要

試験日・募集人員・願書受付・試験科目など

	第1回	第2回
試験日	2月1日(日)	2月2日(日)
募集人員	144名	90名
試験科目 配点と時間	国語…………… 100点 50分 算数…………… 100点 50分 社会…………… 70点 35分 理科…………… 70点 35分	
合格発表	2月1日(日)	2月2日(日)

※本校の入試への出願はすべてインターネット出願となります。

### 2026年度中学校入試結果

募集人員・応募者・受験者・合格者・倍率 ※〔 〕内は2025年度

	第1回	第2回
試験日	2月1日(日)	2月2日(日)
募集人員	144名 〔134名〕	90名 〔100名〕
応募者	652名 〔579名〕	792名 〔1028名〕
受験者	620名 〔548名〕	561名 〔756名〕
合格者	205名 〔190名〕	146名 〔226名〕
倍率	3.0倍 〔2.9倍〕	3.8倍 〔3.3倍〕

合格者の平均点と最高点・最低点

		第1回	第2回
国語	満点	100点(50分)	
	平均点	60.1	69.3
	最高点	84	87
	最低点	39	42
算数	満点	100点(50分)	
	平均点	68.2	61.1
	最高点	95	85
	最低点	44	41
社会	満点	70点(35分)	
	平均点	52.9	52
	最高点	68	68
	最低点	36	35
理科	満点	70点(35分)	
	平均点	56.9	53.6
	最高点	70	68
	最低点	41	39
合計	満点	340点	
	平均点	238.0	236.0
	最高点	289	271
	最低点	222	221

# 2026年度学校説明会等公開行事

※各回ともに校長挨拶、メインプログラム(学校紹介)、サブプログラムからなる説明会となります。校内実施の実施会では、これに加えて校内案内を、ライブ配信では質疑応答の時間があります。詳細は**本校 HP** でご確認ください。

※★印の実施回では、メインプログラムを「既に本校説明会に参加されたことがある皆様」向けのものとし、学校生活の詳細についてご説明いたします。

実施回	形式	実施日時		サブプログラム	対象	定員
第1回 学校説明会	ライブ配信	4/25 土	13:30 ~ 15:40	吉祥女子の進路指導	全学年	950名
				吉祥女子の授業紹介		
第2回 学校説明会	(1) 校内実施	5/9 土	10:20 ~ 12:30	吉祥女子の進路指導	全学年	350名
	(2) 校内実施★	5/16 土	10:20 ~ 12:30	吉祥女子の国際理解教育	全学年	350名
	(3) ライブ配信	5/30 土	10:20 ~ 12:30	吉祥女子の進路指導 芸術教育・課外授業について	全学年	950名
オープンキャンパス		6/20 土	14:00 ~ 17:30	プログラムの詳細は時期が近づきましたら本校 HP に掲載いたします	3 ~ 6年生	詳細は後日 本校 HP にて お知らせします
第3回 学校説明会	(1) 校内実施	9/12 土	10:20 ~ 12:30	入試教科より入試問題について	6年生	350名
	(2) ライブ配信	9/16 水	10:20 ~ 12:30	吉祥女子の国際理解教育 吉祥女子の授業紹介	全学年	950名
吉祥祭		9/26 土 9/27 日	9:00 ~ 16:00	詳細は時期が近づきましたら 本校 HP に掲載いたします	全学年	定員なし
第4回 学校説明会	(1) 校内実施★	10/14 水	10:20 ~ 12:30	入試教科より入試問題について	6年生	350名
	(2) 校内実施	10/17 土	10:20 ~ 12:30	芸術教育・課外授業について	5年生以下	350名
第5回 学校説明会	(1) 校内実施	11/14 土	10:20 ~ 12:30	吉祥女子の国際理解教育	5年生以下	350名
	(2) 校内実施	11/21 土	10:20 ~ 12:30	入試教科より入試問題について	6年生	350名
	(3) ライブ配信★	11/28 土	10:20 ~ 12:30	芸術教育・課外授業について 吉祥女子の国際理解教育	全学年	950名
第6回 学校説明会 (入試会場見学会)	(1) 校内実施	12/19 土	9:50 ~ 10:20	なし ※受験会場(教室等)見学あり	6年生	350名
	(2) 校内実施		11:30 ~ 12:10			350名

※すべての学校説明会等の公開行事は、オンライン上で事前の予約が必要となります。原則的には**実施日の2週間前の昼 12:00**より予約受付を開始いたします。

※校内実施の学校説明会では、**開会の25分程度前から入場いただいている間に**「学校紹介の動画」を放映します。ご視聴を希望される方は、開会の25分程度前までにご来場ください。

※校内実施の学校説明会では、吉祥ホール内でご来場順に前から詰めてお座りいただけます。ご来場順があとの方では、ホール後方等に設置する補助席をご使用いただく形となります。ご了承ください。

※オープンキャンパス・吉祥祭のプログラムや予約方法は、時期が近づきましたら本校ホームページで発表します。

※入試会場見学会では、入試当日に向けた具体的な流れや入試当日の注意事項等の説明の後、入試会場となる普通教室を自由に見学いただくことができます。

※上記の日程や内容は変更することがあります。最新の情報や実施時間帯、予約方法は、本校のホームページでご確認ください。

## 資料配布について

学校紹介の各種資料(GUIDEBOOK・過去2年分の入試問題・生徒募集要項・入学試験要項等)は、本校ホームページからダウンロードが可能です。

また、学校説明会等にご参加いただいた皆様には学校紹介の各種動画もご覧いただけるようにしております。

## お願い

※駐車スペースはありませんので、自動車でのご来場は固くお断りさせていただきます。※校内での写真・ビデオ撮影はご遠慮ください。



学校法人守屋教育学園

吉祥女子中学・高等学校

## 吉祥寺キャンパス

〒180-0002 東京都武蔵野市吉祥寺東町4-12-20 TEL 0422-22-8117 FAX 0422-22-9752

・JR中央線・総武線・地下鉄東西線直通「西荻窪駅」下車 徒歩8分 ※中央線快速は土曜・休日は、西荻窪駅には停車しません。  
・西武新宿線「上石神井駅」から、西荻窪駅行バスにて15分「地蔵坂上バス停」下車 徒歩8分

<https://www.kichijo-joshi.jp/>